



テゾス 財団 半期 活動報告書



2023年3月



私たちが目指すのは
世界中の個人や
団体組織をサポートし、
堅牢かつ
分散型の
デジタル共有財産を
創造できるように
することです。



はじめに

テゾス コミュニティ各位

テゾスネットワークは、2022年に利用率と価値が大きく伸びました。最近の報告書にも記載されているように、スマートコントラクトの呼び出しとトランザクションで測定されるネットワークアクティビティは、1年を通して前年比を超えていました。確固としたネットワーク利用率に加えて、テゾスエコシステムでは、2022年の非代替性トークンの売上が2021年と比較して115%増加しました。

2022年下半期に、2つのフォークレスアップグレードが成功裏に完了し、直近では、Limaが12月にメインネットで開始されました。これらのアップグレードは、テゾスネットワークのスケラビリティと機能性を向上させるのに役立ちました。私たちは、来たる13回目のMumbaiアップグレードを非常に楽しみにしています。このアップグレードでは、スマートコントラクト オプティミスティックロールアップ (SCORU) を導入する予定です。このアップグレードは、分散化とセキュリティを維持しつつ、トランザクション処理能力を桁違いに向上させることで、業界の先端を行くブロックチェーンプラットフォームとしてのテゾスの地位を揺るぎないものにします。

テゾス財団は業界全体に吹き荒れた嵐を乗り切り、メディアでよく取り上げられた重大な崩壊から目立った直接的な損失を被ることはありませんでした。しかし、戦略的に保有するビットコインとテゾスの価値は、市場に連動し

て大きく減少しました。このような事態を想定し、当財団は2022年3月に徹底的な見直しを行い、将来のコミットメントの削減を開始していました。その結果、この年の後半には、その成果が実証されることになりました。

財団は、業界とテゾスに対する信頼を築くために、高品質の技術ソリューションの作成を可能にし、サードパーティの管理を受け入れて奨励し、自らの透明性を高めていきます。半期活動報告書の透明性と詳細な報告は、その一例です。この半期活動報告書を、テゾスのすべてのゲームとゲーマーに捧げます。この1年間、多くの開発者がゲームを構築し、ローンチしてきました。ゲーミングは、コレクティブルおよびクリエイターのトークン化、DeFiと並ぶ強力なバーティカルとしての地位を確立し、2023年のゲーミングに関するプロジェクトパイプラインは胸躍るラインアップとなっています。

テゾスプロトコルとエコシステムの長期的な成功を支援するのがテゾス財団の役割です。インスピレーションに満ちた2023年に胸が躍ります。また皆様の献身と情熱に感謝申し上げます。

テゾス財団理事会





レベル00

目次



はじめに

3

テゾス財団の
ミッション

5

テゾスにおける
過去6か月の軌跡

6

統計情報

10

02

助成金

11

優先事項と
プロセス

12

助成金受給者およびその
他の受給団体・組織

15

研究、
教育、
主要開発の
助成金

16

エコシステム、
ツール、
アプリケーションの
助成金

21

コミュニティ助成金

35

投資とローン

38

業界での
採用

41

ファイナンシャル

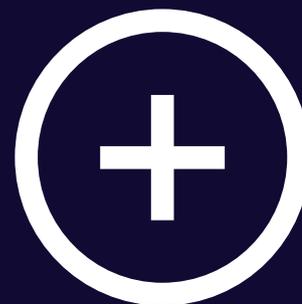
42

テゾス
エコシステムの
世界地図

45

ガバナンス

47



テゾス
財団の
理事会および
委員会

48

財団理事会

49

財団の
委員会

51



レベル00

テゾス財団の ミッション

テゾスはデジタルにつながった世界で貨幣を保有・交換することの意味を再考させるスマート通貨です。省エネでセルフアップグレードに対応するProof of Stake (PoS) ブロックチェーン技術としてすでに確立された実績を持ち、今日みられるネットワークの中断に影響を受けることなくシームレスに未来のイノベーションを採り入れます。単一の会社が「テゾス」を所有、運営、管理することはありません。このパラダイムを理解することが不可欠です。

テゾス財団は、スイス連邦財団監督局の監督下に置かれています。当財団は助成金、投資、スポンサーシップを通じて、世界中のテゾスプロトコルおよび関連技術の普及と発展を支援することを目的としています。その活動として、とりわけ最新分散型ソフトウェアのオープンソースアーキテクチャ分野における、新しい技術とアプリケーションなどがあります。

分散型ネットワークの成功は、堅実で多様性に富んだ活発なコミュニティの努力にかかっています。テゾス財団は、開発者、科学者、ネットワークバリデータ（「ベーカー」）、ファン、eスポーツやゲーム会社、デジタルアートクリエイター、その他多くの人々とともに、世界規模のイノベーションを促進するテゾスエコシステムの成功に向けて取り組んでいます。

テゾス財団は、テゾスプロジェクトの長期的な未来を支援するリソースを展開することでそのミッションを果たしています。その一環として、世界中の教育・研究機関、コ

レクティブおよびクリエイターのトークン化、DeFi、アートやゲームなどのプロジェクト、活動家などのコミュニティを支援する戦略的な方法として、助成金、投資、パートナーシップを展開しています。

テゾスの可能性は、ブロックチェーンエコシステムで最も力があるコミュニティの手にかかっています。それはブロックチェーン上で増え続けるスマートコントラクトの呼び出し数からも窺い知ることができます。この分野の関係者であればテゾスのコミュニティに参加して、テゾスのプロジェクトに貢献できます。





レベル00

テゾスにおける 過去6か月の軌跡

テゾスエコシステム内の躍進の抜粋

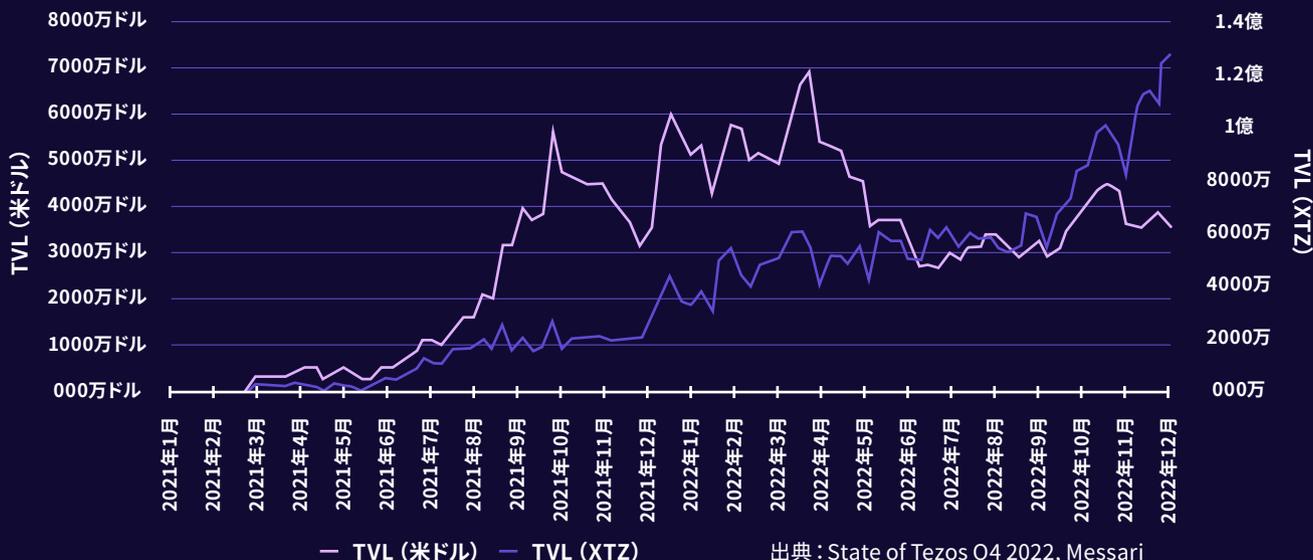


市場の弱気相場にも関わらず、テゾスネットワークは2022年に利用率と価値が大きく伸びました。スマートコントラクトの呼び出しとトランザクションで測定されるネットワークアクティビティは、1年を通して前年比 (YoY)

を超えていました。さらに、テゾスはネイティブトークンであるXTZの預かり資産 (TVL) で第4四半期を史上最高値で終わりました。

テゾスのTVL (XTZ) は2022年第4四半期に史上最高値を記録

テゾスの預かり資産 (米ドル、XTZ)

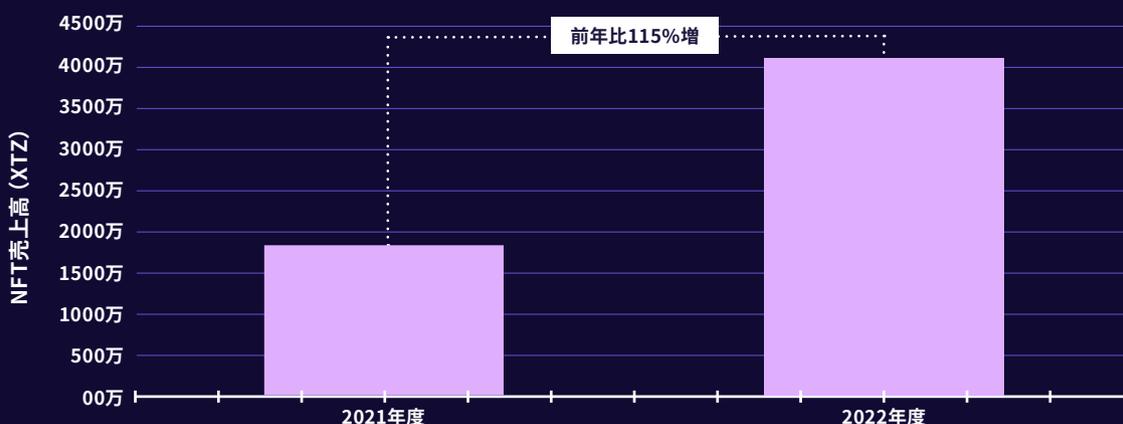


確固としたネットワーク利用率に加えて、テゾスエコシステムでは、2022年の非代替性トークン (NFT) の売上高も大幅に増加しました。テゾスネットワーク上での

NFTの売上高 (XTZを使用) は前年比115%増となり、プラットフォームへの関心の高まりとその普及をさらに実証しました。

テゾスNFTの年間売上高は前年比115%増

テゾスの年間NFT売上高



出典 : State of Tezos Q4 2022, Messari

テゾスブロックチェーンは、1年間にプロトコルのアップグレードの面で大きな進歩を遂げました。ネットワークでは4つのフォークレスアップグレードが成功裏に完了し、直近では、Limaが12月にメインネットで開始されました。

これらのアップグレードは、テゾスネットワークのスケラビリティと機能性を向上させるのに役立ちました。



テゾスネットワークのアップグレード

2019年5月～2021年12月



アップグレード1～8

2019年5月から2021年12月にかけて、テゾスは8回アップグレードされました。アップグレードは、ネットワーク機能の向上と既存のインフラやプロセスの最適化を広く意図したものでした。2022年3月、テゾスの中核的な貢献者であるNomadic Labsは、「2022年はテゾスにとって拡張の年」と発表しました。それ以来、テゾスのネットワークは4回アップグレードされています。テゾスのフォークレスアップグレード、オンチェーンガバナンス、自動修正機能により、ネットワークは継続的に進化できます。

2022年4月



Ithaca

新しいコンセンサスアルゴリズムと複数のベーキングの改善。

2022年6月



Jakarta

トランザクション オプティミスティックロールアップ、スマートコントラクトの改善、ベーキングの改善。

2022年9月



Kathmandu

パイプラインにあるブロックの検証、検証可能な遅延関数、スマートコントラクトでのイベントロギング、恒久的なテストネットワークのサポート。

2022年12月



Lima

パイプラインにあるブロック検証の継続、コンセンサスキー、チケットの改善、テストネットの修正など。

2023年前期



Mumbai

スマートロールアップ、テストネットでのZK-ロールアップ、ブロック時間の短縮など。

出典：State of Tezos Q4 2022, Messari



2022年7月

2022年7月7日
V.HIVE - Team Vitalityによるeスポーツ初のSupport-to-Earnシステムがテゾスで稼働開始

2022年7月18日
DOGAMIがGapと提携

2022年7月21日
TetherのUSDTがテゾスでライブ配信される

2022年7月26日
Tezos、1か月で1万件以上の新規契約展開を達成

2022年9月

2022年9月1日
ドージャ・キャットが、OneOfでJBLと共同で「Genesis Fusion NFT」コレクションを発売開始

2022年9月15日
パロンドールNFTコレクションがテゾスで発売開始

2022年9月23日
テゾスの11回目のプロトコルアップグレード「Kathmandu」を展開

2022年11月

2022年11月25日
Tezos SDK開発におけるUnityとのコラボレーションを開始

2022年11月29日
アート・バーゼル・マイアミが、テゾスを利用したジェネレーティブアート展を開催

2022年8月

2022年8月8日
Block Born シーズン1が始まり、8月に行われたTezotopia戦では11,000戦以上が行われる

2022年8月18日
分散型融資プラットフォーム「Yupana.Finance」をテゾスメインネットでローンチ

2022年10月

2022年10月19日
ShopifyでテゾスNFTのサポート開始

2022年10月25日
2200万人以上のユーザーを有するRobinhoodの取引アプリケーションがXTZを掲載

2022年12月

2022年12月3日
Coinbase JapanがXTZを上場

2022年12月19日
テゾスの12回目のプロトコルアップグレード「Lima」を展開

2022年12月21日
マンチェスターユナイテッドが、テゾスで「The Devils」デジタル収集ドロップを開始



レベル00

統計情報

2022年7月以降のテゾス財団の主要数値の例

4.71億^{米ドル}

資金
(2022年12月31日時点)

20

名の新しい助成金受領者数

19

新しい助成金受領者の居住国



220件以上の提案の採択率

52

助成金を受給したプロジェクト総数

平均

2

件/週の助成金申請

2050万米ドル

新規に承認された最大助成金総額

助成金



助成金



レベル01

優先事項とプロセス

テゾス財団はテゾスのエコシステムの長期的な成功に役立つリソースの配備に重点を置いています。例えば、3つの助成金カテゴリに該当する助成金などが支給されています。

研究、教育、主要開発の助成金

テゾスに関するイノベーション、開発、教育を促進します。助成金には、オンライントレーニングコースやコアプロトコルの開発など、さまざまなプロジェクトが含まれています。

エコシステム - ツール・アプリケーションの助成金

参入ハードルを低くして、開発者や後続のアプリケーションのエンドユーザーがテゾスを利用できるようにします。

コミュニティ助成金

テゾス財団が属するテゾスコミュニティを強化し、成長に導く組織やイニシアチブをサポートします。

年来、複数の関心領域が、現時点におけるテゾスのエコシステムにとって最も有益であると特定されてきました。この領域はエコシステムの進化や拡大に伴い、時間の経過とともに変化していきます。

助成金プラットフォームでは、テゾスの関心分野や優先事項として挙げられていないものの、エコシステムを発展させる可能性のある分野の提案をいつでも提出することができます。

助成金評価プロセス

助成金提案の評価には以下のように3つの段階があります。

1.提案 - 助成金の申請

助成金の手続きは助成金提案書の提出から始まります。助成金提案書には、提案するプロジェクトに関する主要な情報、そして成功までの道のりを記述する必要があります。この情報には例えば提案するソリューションの機能・技術的詳細、目的、ロードマップ、プロジェクトチームの紹介、テゾスのエコシステムに精通している証拠、エコシステムに提供できるとと思われる付加価値、助成期間後のソリューションの持続性を保証するための対策などが含まれます。提案が提出された後、テゾス財団による審査が行われます。審査の結果により、詳細な内容の確認があったり、修正・再提出依頼につながったり、あるいは却下となる場合があります。

期間：1週間



2.授与 - 審査と最終決定

より詳細な審査が行われる場合、技術諮問委員会 (TAC) が監督するエコシステムの専門家が助成金提案書を審査します。TACは緊密にデューデリジェンスを行い、提案のテゾスエコシステムへの適合性と有用性に関する提言を作成します。TACによる推薦は、その後、執行委員会 (EC) またはテゾス財団理事会 (FC) で検討され、最終決定が下されることとなります。助成金提案に下される最終決定は採択、辞退、修正・再提出のいずれかとなり、その旨が提案者に通知されます。

期間：3週間



3.授与後 - 助成金の契約とフォローアップ

申請が承認されると、申請者はテゾス財団と助成金を確定するための法的書類の手続きを行います。プロジェクトの助成金契約と支払いは、通常マイルストーンに沿って構成されています。1つのマイルストーンが完了すると、助成金の受領者は報告書を提出します。報告書が審査され、承認されるとマイルストーンに対する支払いが行われます。プロジェクト終了後は、テゾス財団が定期的にプロジェクトの繁栄を判断します。この段階において、テゾス財団は助成先とのさらなる協力の機会を模索し、テゾスエコシステムの中で同様の相乗効果を持つ関係者との提携を提案することもあります。

期間：4週間 - オープンエンド



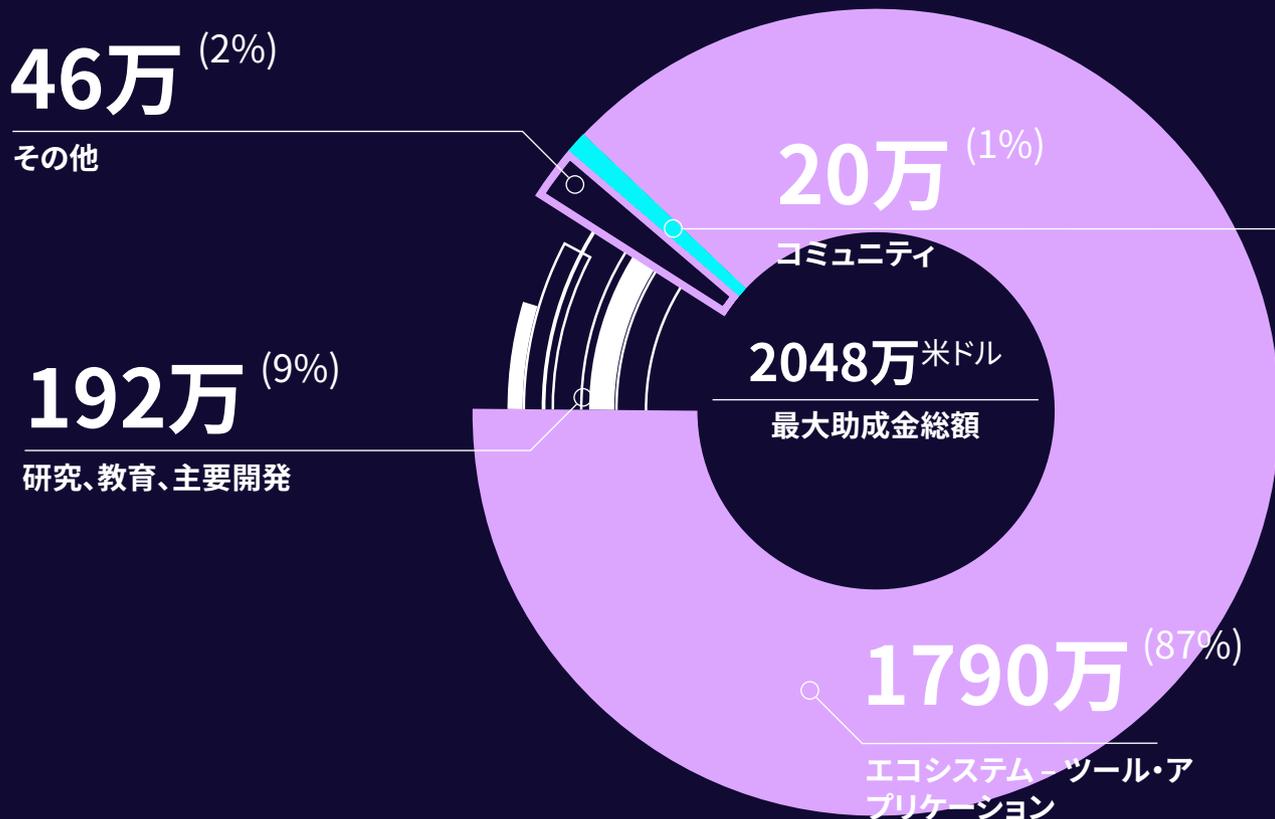
1
3

EMERGENTS

TRADING CARD GAME

助成金受給者および その他の受給団体・組織

前回の活動報告書（2022年8月発行）以来、テゾス財団は19カ国、52件の新規プロジェクトに総額2050万米ドルの助成金を承認しています。過去に助成金を受け、現在も活動しているプロジェクトの中には、本半期活動報告書に記載されていないものもあります。それ以前の特定の助成金については、テゾス財団の過去の半期活動報告書をご覧ください。また、相互の秘密保持契約に基づき、一部の契約は記載されていないものもあります。



研究、教育、 主要開発の助成金

テゾス財団は助成金制度やその他の投資を通じて、分散システム、暗号資産、プログラミング言語、テゾスエコシステム内の形式検証など、コンピューターサイエンスに関わる幅広い領域の研究・教育の支援を行っています。リソースの多くは、世界中の一流の機関や組織の科学者やエンジニアのサポート、さらに将来の才能を育成するための教育プログラムに充てられています。こうした取り組みや、主なプロトコルの開発に貢献するその他の取り組みはテゾス財団の最重要課題です。

受給者とその他の受給団体・組織

主要開発

- ダイラムダ株式会社 (日本)
- Marigold (Accélérateur de Blockchain SAS) (フランス)
- Nomadic Labs SAS (フランス)
- Oxhead X LLC (米国)
- Tarides SAS (フランス)
- TriliTech Ltd. (英国)

研究・教育

- 京都大学
大学院情報学研究科
コンピュータ・ソフトウェア・グループ (日本)
- Cryspen (フランス)
- インド工科大学 ハイデラバード校 (インド)
- インド工科大学 IITマドラス校 (インド)
- 名古屋大学 (日本)
- PyraTzLabs SAS (フランス)
- チューリング大学 (リトアニア)
- ケンブリッジ大学 (英国)
- シエナ大学 (イタリア)

コア開発

助成金プログラムの一環として、世界中の分散化コア開発者チームからサポートを受けてテゾスプロトコルを推進しています。この分散化コア開発者チームは度々、新たなプロトコルアップグレードに向けた提案作成に共同で取り組んでいます。テゾスネットワークを検証するペーカーに改めて提案のうえ、投票が行われます。

ダイラムダは、京都に拠点を置く、テゾスの主要開発チームです。主にマイケルソン言語やガスツールを中心とした研究開発に取り組んでいます。バイトでの論理演算や数値間の変換を行うマイケルソンオブコードを実装しました。「Mumbai」プロトコルアップグレードで利用可能になる予定です。また、テゾスガスツールであるSnoopのコードジェネレーターを改良しました。これは、テゾスの使用に対して公正なランタイムコストを請求するために不可欠なものです。Plebeia Merkleツリーストレージの開発は続いており、コンテキストのディスク使用量を減らすために、初のガベージコレクション機構を実装しています。また、京都大学のアイコンチームと共に、スマートコントラクトのセキュリティに関する学術的な共同研究にも取り組んでいます。

Marigoldはコア開発者グループで構成される国際チームで、優先度の高いレイヤー2ソリューションや、パフォーマンス、並行処理、コードベースのメンテナンスなどのテゾスコアプロトコルに関するテーマに取り組んでいます。チームは過去のプロトコルのアップグレードをサポートし、開発者に向けた生活の質の改善など、テゾス技術に対する提案されたアップグレードの開発を続けて支援しています。

Nomadic Labsはパリを拠点とする研究開発会社で、テゾスの開発、進化、導入に貢献しています。プロトコルの開発で世界の研究機関や大学と協力し、ゼロ知識暗号法の研究を行っています。Nomadic Labsはまた、スマ

ートロールアップの開発と展開にも取り組み、最も広く使われているテゾスノードとベーキングソフトウェアであるOctezのメンテナンスも行っています。

Oxhead Alphaは米国を拠点とする研究開発チームで、テゾスコミュニティの主要インフラをサポートしています。チームは、Ghostnet、プロトコル別のテストネット、スナップショット、ベーキング・監視ツール、各種企業向け設定ユーティリティなどに取り組んでいます。Oxhead Alphaは、プロトコルのアップグレードにおいて他のチームと定期的に協働しています。また、テゾスで構築されたWeb3アプリケーションのプロダクショングレードの展開の実装にも取り組んでいます。最近では、カリフォルニア州陸運局向けにテゾスベースのタイトリングシステムを開発しました。

Taridesはパリを拠点とするチームで、オフラインファーストのアーキテクチャに焦点を当てた機能的なシステムを構築し、クラウドコンピューティングに共通するセキュリティとレイテンシーの問題解決に取り組んでいます。OCamlおよびMirageOSコミュニティのパートナーとの協力により、OCamlベースの革新的なオープンソースソフトウェアの開発も進めています。さらに、重要なOCamlライブラリや主要な言語機能の保守も行っています。また、テゾスのブロックチェーンの台帳をディスク上に保持するために使用されるIrminの主要開発者でもあります。これらのほか、TaridesはOCaml言語とそのエコシステムにマルチコアサポートを追加することで、テゾスのシェルとロールアップのスケーラビリティを改善することにも取り組んでいます。

Trilitechは、ロンドンに拠点を置くテゾスのエコシステム企業です。ゲーミング、アート、DeFiプロジェクトなどに関するコアプロトコル開発、アプリケーション開発、ブロックチェーンビジネス開発など、テゾスブロックチェーンに関するさまざまな事柄について、他のテゾスエコシステム企業、パートナー、プロジェクトと協力しています。Trilitechは最近、Trilitechが供給したホワイトラベルのNFTストア技術に基づいて、マンチェスターユナイテッドのデジタルコレクティブルのローンチをサポートしました。





CRYSPEN
チーム



研究・教育

研究・教育部門の助成金は、テゾスの長期的な成功と新たに加わる開発者のトレーニングのサポートに充てられています。この助成金の対象となるのは研究開発チームだけではありません。教材を通じて、テゾスのエコシステムに新たに参加するチームの参入障壁を下げることに積極的に取り組む人々も対象となっています。

コンピュータ・ソフトウェア・グループは京都大学大学院情報学研究科に在籍し、複数の参加者が関与する可能性のあるトランザクションとして一連の操作の静的検証手法の考案と、既存の検証器「Helmholtz」を基盤としたMichelson用のコントラクト間検証ツールの開発に取り組んでいます。この研究はテゾスブロックチェーンの中核的な開発に含まれています。

Cryspenはフランスとドイツのチームで、HACLパッケージ (HACL*研究プロジェクトに基づいた暗号アルゴリズム完全版をもたらす検証済み暗号ライブラリのセット) の開発に取り組んでいます。このライブラリのコードは、テゾス、Firefox、Linux、mbedTLS、WireGuard、ElectronGuardで使用されています。CryspenチームはHACLを中心とした開発者とユーザーの活動的なコミュニティを構築しています。この目的達成のため、開発者と研究者がHACLの保守と拡張を容易にできるよう、十分に文書化された検証済みコードのオープンソースリポジトリと共有テストCIフレームワークを作成しています。HACLのみならず、CryspenはMLSなどの今後の暗号標準にも関与し、企業が自社製品の安全性を守る上で役立つ正式検証のカスタム暗号ソリューションを構築しています。

インド工科大学 ハイデラバード校は複数のコアリソースを活用し、テゾスブロックチェーンにおけるスマートコントラクトのトランザクションを効率的に並列実行するフレームワークの開発に取り組んでいます。これによりテゾスブロックチェーン全体のトランザクションの改善が期待されます。

インド工科大学 IITマドラス校は8,000人余りの学生と約550人の教職員を抱える世界トップクラスのテクノロジー系高等教育機関で、そこでは基礎研究と応用研究も行われています。IITマドラス校のチームは、プログラミング言語OCamlに並行処理と並列処理のサポートを追加することに取り組んでいます。OCamlプログラミング言語の次回のメジャーリリースであるOCaml5では、共有メモリ並列処理のサポートと、エフェクトハンドラによる並行プログラミングのネイティブサポートが行われる予定です。また、ロックフリーのライブラリやリエージェント、ハードウェアトランザクションサポート (ハードウェアで利用可能な場合) までコンパイル可能なトランザクションメモリ実装など、並行プログラミングのための基本的な抽象化機能の開発を続けています。

名古屋大学大学院多元数理学研究科のCOCTIチームは、より堅牢で認証可能なOCaml型推論エンジンの開発を目指しています。OCaml型チェッカーは、明示的な制約の導入により徐々にモジュール化されており、多くのプルリクエストがすでにメインストリームOCamlに結合されています。認証は2つのレベルで行われます。Coq証明アシスタントを使用した型システムの基礎となる理論の公式化、およびOCamlのコードから、OCamlの型安全性を証明するためのCoqサウンドネスに依存した、十分に型付けされたCoqコードへの変換です。さらにこの助成金

は、ダイラムダならびに他のアジア太平洋地域のテゾスの開発者チームと協力し、ブロックチェーンや検証に関連するテーマの教育をサポートします。

PyratzLabsは、Bilal El Alamy、Maxime Sarthet、Thomas Binetruy、Jacques Laloによって設立された、Web3に完全に特化したスタートアップスタジオです。同社のサポートにより、顧客である創業者は、スタートアップスタジオモデルを改革することで、野心的なWeb3スタートアップを構築し、資金調達し、スケールアップすることができます。PyratzLabsのポートフォリオには、2022年に1000万ユーロ以上の収益を上げ、100人以上の雇用を創出した27社のスタートアップ企業があります。

Turing Collegeはリトアニアを拠点とするデータおよびブロックチェーンのオンラインスクールで、スマートコントラクトのプログラミングに特化した無料コースを立ち上げました。授業では、受講生はテゾスブロックチェーン上で開発された実践的なプロジェクトに取り組むことができます。チームはすでにテゾス開発者コースを2組立ち上げています。受講生は、ブラジル、香港、リトアニア、エストニア、英国、ルワンダなど、さまざまな国から集まっています。



ケンブリッジ大学は英国の有名大学です。テゾス財団は、同大学に対し慈善基金および研究資金を提供し、テゾスブロックチェーンのエネルギー高効率の取引手段に即した自然に基づいた気候変動に対する解決策の環境保護プロジェクト検証、そして分散型炭素取引に関する基礎研究を支援しています。初期研究では、テゾスを使用したスケラブルなプライバシー保護型二酸化炭素排出量追跡のためのシステムを構築し、その結果、オープンソースソフトウェアとスマートコントラクトが生まれ、より広いコミュニティで活用できるようになるとともに、2023年にケンブリッジ大学で使用するために展開される予定です。この研究は同大学のコンピューター科学技術部門を拠点とし、ケンブリッジ自然保護イニシアティブのケンブリッジゼロ、動物学部、植物科学部、ケンブリッジ大学UKRI人工知能応用博士課程教育センターと共同で行われ、環境リスクを調査します。

トスカーナ（イタリア）の中央にある**シエナ大学政治経済統計学科**では、Nicola Dimitri教授がテゾスの「Liquid Proof-of-Stake」プロトコルを研究しています。このプロジェクトは、ユーザーがベークとデリゲートの間の最適なステークをどのように決定するかを調査し、公式化しています。



VERSES

OATH
BOUND

エコシステム - ツール・アプリケーションの助成金

テゾス財団は、スキルレベルの異なる開発者がテゾスで新たなアプリケーションを構築でき、エコシステムの成長に役立つツールを構築している数々のチームをサポートしています。これまでテゾス財団は、「プログラミング言語とライブラリ、ブロックエクスプローラーと分析、スマートコントラクト開発、インフラ、アプリケーション、コレクティブとクリエイターのトークン化、ゲーミング、分散型金融、決済ソリューション」といった主要分野に焦点を当て、助成活動を行ってきました。

受給者とその他の受給団体・組織：

プログラミング言語とライブラリ：

- Formal Land (Arae SARL) (フランス)
- Ligo (Accélérateur de Blockchain SAS) (フランス)
- Morum (米国)
- Nomadic Labs SAS (フランス)

ブロックエクスプローラーと分析：

- Baking Bad (エストニア)
- Blockwatch Data Inc. (米国)
- Dialectic Design (オランダ)
- Papers AG / AirGap (スイス)

スマートコントラクト開発：

- Compellio S.A. (ルクセンブルク)
- Edukera SAS (フランス)
- Free Code Camp, Inc. (米国)
- GK8 Ltd. (イスラエル)
- 高麗大学校 (韓国)

- マサチューセッツ工科大学 (米国)
- Runtime Verification Inc. (米国)
- Serokell OÜ (エストニア)
- TezWell Unipessoal LDA (ポルトガル)

インフラ：

- CapBridge Financial Pte Ltd (シンガポール)
- Chainstack (シンガポール)
- Cryptocount (米国)
- Cryptonomic Inc. (米国)
- ECAD Labs Inc. (カナダ)
- Functori SAS (フランス)
- FutureSense Co Ltd. (韓国)
- Gravity (フランス)
- Kukai AB (スウェーデン)
- MIDL.dev OÜ (エストニア)
- Nomadic Labs SAS (フランス)
- Opsian Ltd., UK
- Papers AG / Airgap (スイス)

- Satoshi's Closet Inc., US
- Solvuu Inc. (米国)
- Tezos Reward Distributor (米国)

アプリケーション

- Agile Ventures S.R.O. (チェコ)
- Electis (フランス)
- Giry SAS (フランス)
- Papers AG / Airgap (スイス)
- Papers AG / Woocommerce (スイス)
- Talao SAS (フランス)
- The Blockchain Xdev (フランス)
- The Central Bottling Company Ltd (Carlsberg) (イスラエル)
- Xcap Ecosystem Ltd./Ownera (英国)

コレクティブおよびクリエイターのトークン化

- AllTokenFootball (スイス)
- Art Basel (スイス)
- Blckbook Inc. (英国)
- Block and Byte Technologies Pvt Ltd. (インド)
- Circa Art Ltd. (英国)
- FloSports Inc. (米国)
- Joko Inc. (米国)
- McLaren Racing Ltd. (英国)
- Tezos Foundation Permanent Art Collection (スイス)
- The Tickle (英国)
- theVERSEverse (米国)
- Vertical Crypto Art (VRTCL Ltd.) (英国)

ゲーミング:

- Blockchain Alchemy (米国)
- Misfits Gaming Group (Esports Now LLC) (米国)
- Talao SAS +, Gif Games (Tezotopia) (フランス)
- Team Vitality SAS (フランス)

分散型金融 (DeFi)

- Allbridge (ウクライナ)
- Ejara (Nzinghaa Lab) (カメルーン)
- indivio AG (スイス)
- Madfish Solutions Inc. (ウクライナ)
- Nyayomat (Samserve Ltd.), (ケニア)
- OpusDei (G.Ko Inc OÜ) (エストニア)
- Papers AG / Airgap (スイス)
- Proofo SAS (Lyzi) (フランス)
- RAZ Finance (Roshem Ventures Ltd.) (イスラエル)
- Rocket Launchpad Ltd. (英国領ヴァージン諸島)
- Smartlink.so OÜ (Vortex) (エストニア)
- Tezsure Inc. (オランダ)
- Wealtchain Inc. (英国領ヴァージン諸島)

決済ソリューション

- Al Bawaba Group LLC (アラブ首長国連邦)
- Hexa Solutions SAS (フランス)



JOIN US!

組織・カテゴリごとの月間承認最高額

- 50万米ドル超
- 50万米ドル以下
- 20万米ドル以下
- 5万米ドル以下

プログラミング言語とライブラリ

テゾスを可能な限り利用しやすくするために、テゾス財団はテゾス開発への参入ハードルを低めることを目指すオープンソースソフトウェアを作成するエンジニアをサポートしています。

Formal Landは、テゾスプロトコルの実装の形式検証を行い、コードが安全で予期せぬエラーがないことを保証する取り組みを行っています。チームは、「coq-of-ocaml」というツールを使って、プロトコルのOCamlコードをCoqに変換します。そして、Coq言語でコード上のプロパティを表現し、検証します。最後に、Formal Landは、プロトコルのリリースの後方互換性、内部エラーの不在、データ構造上の不変量の保持など、グローバルなプロパティを検証することに焦点を当てています。さらに、スキップリストアルゴリズムの実装など、特定のコードの検証も行っており、プロトコルの開発ブランチにおける進化を綿密に追い、証明を最新の状態に保っています。

フランスを拠点とする**LIGO**チームは、LIGOプロジェクトを広く支持されるツールにすることを目標にしています。LIGOはMichelsonのものよりも大規模なコントラクトを開発できるよう設計された、親しみやすいスマートコントラクト言語です。そして引き続き、全体的なメンテナンスやフロントエンド（シンタックス間のより良いトランスコンパイルなど）、ミドルエンド（タイパーに対する改良など）、バックエンド（Coqに移行する部分の数の増強など）といった改良を行っています。

Morumは米国を拠点とするSmartPyの仕掛け人です。既存機能の改善や新規開発に注力しています。例えばテゾスプロトコルのアップグレードへの対応、変異試験などに取り組んでいます。

Nomadic Labsはテゾススマートコントラクトのプログラミング言語であり、形式の検証を念頭に置いて設計されたMichelsonを保守しています。Michelsonは、テゾススマートコントラクトの参照言語です。これは低レベルでチューリング完全なスタックベースの言語であり、スマートコントラクト実行前に全クラスのプログラミングエラーを排除する静止型システムを備えています。さらにNomadic Labsは、Mi-Cho-Coq (Coqインタラクティブ定理証明器を使用するMichelsonの仕様)を保守しています。このことにより、Michelsonのシンタックスとセマンティクスの正式な仕様と、スマートコントラクトを検証するためのフレームワークを提供します。



ブロックエクスプローラーと分析:

テゾス財団では、コミュニティメンバーが、テゾスブロックチェーン分析に使用できるオープンソースのブロックエクスプローラーやその他のツール開発を優先して資金提供しています。

Baking Badは、複数のインフラとDeFiプロジェクトに取り組むテゾス開発チームです。ブロックエクスプローラーの分野では、TzKTとBetter Call Devの両方に携わっており、改良を続けています。また、TzKTインデクサ、DipDupフレームワーク、多様な高レベルAPIを含むインデクシングスタックを開発しています。また、テゾスとの対話のためのPythonとC#のSDK、ウォレットとdAppsをブリッジするためのBeaconプロトコルの.NET実装も維持しています。

Blockwatch Data Inc.は、Web3データ解析のリーディングプロバイダーです。同社は、テゾスネットワークへのアクセス、分析、対話のための弾性のあるAPI、専用ノード、強力なツールを介して、テゾスエコシステムに回復力に優れたインフラと優れた開発者体験をもたらすことをテゾスにおける使命としています。これに加え、オン・チェーン・アクティビティに関する比類なき洞察を導き出す、個別にあつらえたデータ・インテリジェンス・ソリューションも提供しています。

Dialectic Designはオランダを拠点とし、テゾスエコシステムの分散型テクノロジーとコミュニティの発展に関する、分析とデータ駆動型のストーリーを提供する分析報告書である「Stack Report」に取り組んでいます。このプロジェクトの目標は、テゾスのNFT活動の分析と可視化で行われた作業をベースとして、レポートをより広いテゾスエコシステムに拡大していくことにあります。主なアウトプットは、thestackreport.xyzのデータ探索とストーリーテリングのプラットフォームで、複数の深く掘り下げた記事をウェブサイトで公開し、複数のSNSでも共有しています。

Papersは活発に活動する開発チームで、特にAirGapウォレットを強化するなど、ウォレットとテゾスエコシステムのdAppを接続するためのBeaconを開発しています。Kotlin、Swift、Rust向けのテゾスSDKを使用し、Papersはテゾスエコシステムの開発者が様々な言語でTezosプロトコルと対話できるように、必要な開発者ツールを提供しています。SDKは、操作の作成、テゾスRPCとの通信などに使用できる実装を参照しています。

スマートコントラクト開発

テゾスブロックチェーンは、組織レベルのスマートコントラクトをサポートしています。テゾス財団は、テゾススマートコントラクト開発とそれに続くアプリケーションの参入ハードルを低めるためのツールに資金を提供しています。

Compellio SAは、Web2コンピューティングとWeb3コンピューティングのギャップを埋めるためのグローバルなインフラコンポーネントを提供する企業として知られています。ルクセンブルクに本社を置くCompellioは、製品認証、資産トークン化、サプライチェーン管理、消費者ロイヤリティなど、複数のビジネス分野でブロックチェーンとWeb3技術を推進する公共および民間組織と連携しています。同社の顧客ポートフォリオは、大手の業界企業、公共団体、国際機関などで構成されています。Compellioは認定研究機関であり、ブロックチェーンの相互運用性と資産トークン化の分野でMITと協力し、最先端の研究を行っています。

Edukeraチームは、Archetype言語で書かれたスマートコントラクトで作業する方法の改善を目指しています。テストフレームワークは、Node.js TypeScriptの新しいバインディング生成機能を統合するために、完全に再設計されました。コントラクトとのインタラクションを簡略化するため、開発時間を大幅に短縮することができます。Archetype言語自体も、チケットのサポートや外部のコントラクトタイプやシングネチャのインポートが完

了しつつあります (MichelsonおよびArchetype)。2023年には、待望のコントラクトのデバッグ (ステップバイステップ) 実行など、VSCodeのサポートに大きな改善が見られるなど、さらに機能が充実する予定です。

Free Code Campコミュニティは、テゾスエコシステムで多数のテゾスツールを活用してアプリケーションを構築する方法について、深く取り上げるコースを作成しています。プロジェクトが主体となるこのコースは、freeCodeCamp.orgコミュニティのYouTubeチャンネルで公開され、学習者が構築できる自習型コードプロジェクトを特集する予定です。

GK8は、DeFi、ステーキング、NFT、取引、トークン化をサポートする機関投資家向けデジタル資産カストディプラットフォームのリーディングカンパニーです。Tezosと提携し、エコシステムの安全な拡張を推進しています。GK8は、従来の機関および暗号ネイティブな機関の両方に、ブロックチェーンベースの資産を管理するためのエンドツーエンドプラットフォームを提供しています。同社は、世界初の真のCold Vaultを開発し、顧客がインターネット接続なしで安全なブロックチェーン取引を作成、署名、送信できるようにし、あらゆるベクトルのサイバー攻撃を排除しています。GK8は、ソーシャル投資ネットワークのeToro、State Street、U.S.Bank、WisdomTree、Securrency (Abu Dhabi Catalyst Partnersが支援するブロックチェーンフィンテック企業)、Tezos Foundation、世界最大級のカストディアンであるProsegurなど、何億円にも上るデジタル資産を管理する顧客にサービスを提供しています。

高麗大学には3万6000人以上の学生が在籍しており、韓国でも有数の歴史ある高等教育機関です。コンピュータサイエンス学科助教授のHakjoo Ohは、Michelsonで書かれたスマートコントラクトの完全性を全自動で検証し、テストするツールの開発に取り組んでいますが、その取り組みを支援するために助成金が交付されました。

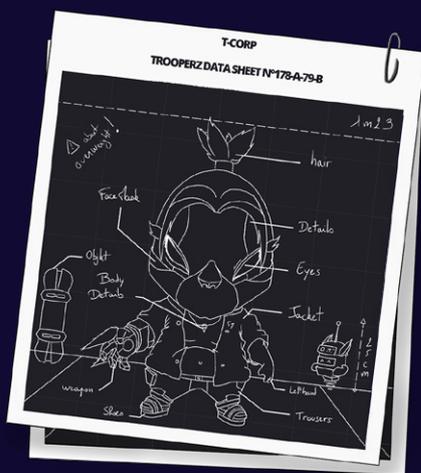
マサチューセッツ工科大学は米国の名門大学であり、正式に検証された暗号ソフトウェアライブラリや、暗号プロトコルを実装し正式に検証されたソフトウェア/ハードウェアスタックの研究を行っています。すべてのソフトウェアとハードウェアの設計はオープンソースライセンスで一般公開されています。同大学はテゾスコミュニティと協力しながら、必要に応じて有用な拡張機能を開発しています。

Runtime Verificationは米国に本社を置き、ランタイム検証に基づく技術でソフトウェアの安全性、信頼性、精度を向上させることを目的としています。様々なスマートコントラクトの監査を通じてテゾスエコシステムを支援しています。



Serokellは、カスタマイズされた高性能ソリューションの作成に特化したソフトウェア開発会社です。エストニアを拠点とするこの研究開発企業では、ステーブルコインやラップアセットなど、さまざまな開発者ツールやテゾススマートコントラクトの開発・保守に取り組んでいます。また、Tezos Agora、Kiln、TZIPエクスプローラーといったエコシステムの各種ツールやプラットフォームのメンテナンスもサポートしています。

TezWellは2020年設立のポルトガル企業で、当初はSmartPyプロジェクトにコンサルティングサービスを提供していました。テゾスエコシステムのスマートコントラクト開発のためのビジュアルプログラミングツール「VisualTez」を制作した企業です。このツールにより、ブロックをドラッグ・アンド・ドロップするだけで構築できるイラストでスマートコントラクトを表現できます。テキストベースのプログラミング言語ではプログラマーはコンピュータのように考える必要があるため、コンピュータサイエンスなどの知識がない人には困難です。VisualTezは、専門知識がない人の参入障壁を下げるのに役立ちます。



インフラ

インフラは、活発なブロックチェーンエコシステムに不可欠です。テゾスの場合、ファイナンシャルプリミティブスや資産基準などの重要なインフラを構築するプロジェクトにより、開発者はこれらの公共財を使ってテゾス上で新しいアプリケーションを作りやすくなります。

CapBridge Financial Groupは、アジア初の完全統合型プライベート市場デジタルエコシステムです。プライマリーシージケットプラットフォームであるCapBridgeとセカンダリーエクスチェンジである1exchangeを統合し、一か所で柔軟かつカスタマイズ可能な流動性オプションを提供しています。1exchangeは、非公開（非上場）企業の国家登録簿の株式譲渡取引情報をテゾスブロックチェーンに書き込んで直接更新することを可能にしているため、やがてはあらゆる非上場企業が、ユーザー定義の選択グループ/株主と「非公開取引」を行うことを選択できるようになります。

Chainstackは、開発者とテゾスインフラをつなぐサービスを提供し、DeFi、NFT、ゲーミング、分析、およびその中間のすべてのアプリケーションを強化します。Chainstackは、ノードやデータのAPI、分散コンピューティングやストレージ、ID管理やセキュリティテスト、そして素晴らしいアプリケーションを構築するために増加し続けているサービスやツールへのユニファイドアクセスを提供します。Chainstackのエンタープライズグレードのプラットフォームは、直感的な開発者体験、実績のある信頼性、予測可能な価格設定、優れたカスタマーサポートを備えています。

CryptoCountは、米国に拠点を置くオープンソースの税理プラットフォームです。現在の動作は、ネイティブブロック報酬の公正市場価値（FMV）評価集計です。さらに、取引ベースのキャピタルゲイン計算とFMV DeFi/dAppコントラクト報酬を統合しています。

Cryptonomicは2017年からテゾスエコシステムに参加し、テゾス向けのGalleonウォレット、Conseilインデクサ、ConseilJS SDKを運営しています。これ以外にも、Cryptonomicは数多くの企業がテゾスブロックチェーン上でプロジェクトを構築するのを支援してきました。

ECAD Labsはオープンソースの開発ツールを構築し、テゾスエコシステムのインフラサービスを提供しています。カナダのバンクーバーに本社を置き、技術的ハードルを下げ、ブロックチェーン開発の経験を簡素化することを目指しています。テゾスコミュニティで人気のあるJavaScriptライブラリ、Taquitoを開発したチームです。



Functoriは、コアプロトコル開発 (Tenderbake、Smart Rollups、データの可用性)、プロトコル開発ツール (Mitten)、Raribleのバックエンド統合などの研究開発に携わるチームであり、さまざまな形でテゾスに貢献しています。また、NFT (Dogami、Minteed、Wagmi、Straiqrなど) やDeFi分野 (Smartlink、Ownera、SpicySwap、ArtDEX、FlameDeFi) の顧客向けにスマートコントラクトの開発やレビューを行っています。また同時に、スマートコントラクトやブロックチェーンバックエンド (Mligo、TzFunc、Crawleri) の作成と使用における生産性と安全性を高めるツールも設計しました。

FutureSenseは、韓国警察庁との取り組みの中で、DIDサブシステム、データインテグリティサブシステム、トークンベースのデータマーケットプレイスなどにテゾスブロックチェーンの技術を組み込んでいます。このチームは、Nomadic LabsやTZ APACといったテゾスのエコシステムメンバーと、技術的にもコミュニケーションレベルでも協力しています。第1フェーズが完了し、第2フェーズが進行中です。

Gravityはフランスを拠点とし、個人や小規模事業者が自分自身に関する検証可能なデータをデジタルウォレットにまとめ、プライベートでポータブルかつ永続的な方法で、信頼できるデジタルアイデンティティを構築するためのソリューションを開発しています。デジタルIDプロジェクトでは、Spruce IDと共同で人道支援組織のためにオープンソースIDスタックを構築しています。財団が支援する活動の一環として、世界中のNGOに使用されているRedRoseシステムに、テゾスペースのDIDと検証可能なクレデンシャルを統合しています。

Kukaiは、テゾスペースの資産用の人気ウォレットを開発したスウェーデン企業です。その特徴の一つにWeb3Auth機能があり、SNSのアカウントを通じてウォレットを作成することができます。UXやUIの改善、人気の分散型取引所などのdAppとの統合、モバイルデバイスソリューション、スマートウォレットの機能など、ウォレットの開発を進めるための助成金を受け取っています。チームはコミュニティや開発者から寄せられるフィードバックを基に、新たな機能の導入を積極的に行っています。

MIDL.devは、エストニアで設立されたWeb3インフラ企業です。同社は、いくつかの名高いテゾスDeFiプロジェクト (Plenty、Crunchyなど) でバックエンドとして使用されているTezos RPCサービスや、ノンカストディアルのベーキングサービスを提供しています。また、テゾスのプライベートメンプールであるFlashbakeの構築とホストも行っています。

Umamilは、業界最高水準の機能を備えた、初心者から上級者まですべての人にスムーズなユーザー体験を提供するテゾスウォレットです。テゾスブロックチェーンへの貢献で知られる**Nomadic Labs**のチームによって作成・開発されています。Umamilはこれらのノウハウを結集し、オールインワンのデスクトップウォレット、そして2022年12月からはモバイルウォレットで優れたユーザーエクスペリエンスを提供しています。

Opsianは英国に本社を置き、ケンブリッジにオフィスを構えている企業です。同社チームはテゾス活動の継続的監視とプロファイリングを可能にするプロジェクトに取り組んでいます。その目的は、テゾスエコシステムで、テゾスノードのアプリケーションとシステムのパフォーマンスを理解できるようにすることにあります。プロジェクトは、デフォルト・オン・メトリック、低オーバーヘッドインストルメンテーション、そしてデータが取り込まれ、インデックスが付けられ、公開ダッシュボードにまとめられるという方法で、テゾス上のOCamlランタイムの継続的なプロファイリングを行います。

Papersはその他テゾス開発チームと協力し、ユーザーがブラウザからテゾス上に構築されたアプリケーションとやり取りできるようにするためのウォレットインタラクション標準を作成しました。スイスを拠点とするこのチームは、エコシステムにおける数々のプロジェクトに貢献してきました。本報告書の他の部分で取り上げたプロジェクトの他にも、ウォレットソリューションであるAirGapにSaplingを統合しました。

Satoshi's Closetは、米国を拠点とするクロスチェーンNFTを中心としたモバイルウォレットアプリの開発に取り組んでいるチームです。Satoshi's Closetは、Web3のオンボーディングとIRL NFTコマース、そして消費者とブランドのためのユーティリティを可能にします。同社の

製品には、マルチチェーンNFTモバイルウォレットであるWLTと、インタラクティブなNFT販売拠点キオスクであるGLRYがあります。これらのアプリとNFTミントサービスを組み合わせることで、新規ユーザーを取り込み、既存のNFTコレクターが1つの使いやすいモバイルアプリで複数のウォレットとブロックチェーンにわたるすべてのNFTを閲覧できるようになります。

Solvuuは、ライフサイエンス業界向けにコンサルティングとソフトウェアソリューションの構築を行っています。ゲノムデータセットにバイオインフォマティクスアルゴリズムを使用し、創薬を加速させ、臨床判断支援システムを提供しています。同社はタイプセーフプログラミング言語に重点を置き、ほぼ独占的にOCamlを使用しています。Solvuuチームは、OCaml Labs（現在はTaridesと合併）と協力して、新しいOCaml.org Webサイトを実装しました。フロントエンド技術を評価し、デザインとサイト全体の実装を支援しました。Solvuuはニューヨークを拠点としています。

Tezos Reward Distributor (TRD)はテゾスのエコシステムに貢献する世界規模のチームで、あらゆる規模のベーカーの報酬の支払いを簡素化・自動化するための支援を提供しています。テゾスプロトコルはダイナミックかつ進化が早いいため、TRDチームは熱意を持って課題に取り組んでいます。



アプリケーション

テゾスは新しいタイプのアプリケーションを実現し、従来のソフトウェアスタックを使ってでは解決が困難だった問題に対処することができます。当財団は、テゾスプロトコルでの幅広い採用を進め、標準化や検閲耐性、ユーザーコントロールに役立つ新たなアプリケーションをサポートしています。

Agile Venturesチームは、評判のよいTezos Domainsプロジェクトにも積極的に取り組んでいます。ユーザーは、テゾスエコシステム全体で、tz1VBLpuDKMoJuHRLZ4HrCgRuiLpEr7zZx2Eのようなアドレスではなく、alice.tezといった名前を使用できるようになりました。また、Tezos Domainsでは、ドメイン所有者がIPFS上でWebサイトをホストできるようにすることで、Web3をテゾスに導入しています。ユーザーは、Tezos Domains dAppでドメインを管理し、セカンダリーマーケットの機能を活用することができます。開始以来、13万3,000を超える名前が登録されています。非営利団体であるTezos Domains Foundationが12月に法人化され、今後のDAOの立ち上げに協力する予定です。

Electisは、テゾスをベースとしたWeb3電子投票プラットフォームを開発した組織です。このプラットフォームにより匿名のエンドツーエンドで検証できる選挙、アンケート、コンサルテーションが可能となります。準同型暗号とブロックチェーンを組み合わせたこのソリューションは、設計上、機密性と透明性が高く、結果の論争を事実上排除することができます。Electisのソリューションは、地方自治体による市民参加型プロジェクトから、民間企業における従業員代表選挙まで、世界中のさまざまな組織がすでに電子政府ツールとして利用しています。また、国連機関や国際的な気候変動に関する議論において、より民主的な意思決定をもたらすためのプロジェクトにも携わっています。

Pebbleは、分散型で完全検証可能、かつ自己集計可能な電子投票システムです。**Giry**のヨーロッパの研究者と専門家によって構築されるチームによって構築されたPebbleは、有権者のプライバシーを守り、結果の透明性を確保し、分散型ガバナンスの仕組みに持続的な信頼性を生み出しています。Pebbleはタイムロック暗号、ZKP、DLTなどを組み合わせることにより、仲介者や信頼できる第三者によって誘発される手数料や脆弱性を排除して、自己集計による選挙を可能にします。その他の電子投票プロトコルとは異なり、投票時に投票用紙を暗号化し、選挙終了前になりすましや開封ができないように難易度を調整した上で、分散型かつ一般にアクセス可能な掲示板に公開します。タイムロックで暗号化された投票用紙を復号化し、発表された結果を随時確認することで、誰でも集計に参加することができるようになります。

Papersのチームは、WordPressサイトの主力eコマースソリューション「Woocommerce」用に簡易な決済ゲートウェイ・プラグインを開発し、ネットショップをテゾスのエコシステムに取り込むことに貢献しています。この統合でショップはテゾスのネイティブトークン「tez」とテゾスのFA2トークンの基準をサポートでき、ネットショップでuUSDやkUSDなどの資産を決済手段として利用できるようになります。

Talaoは、テゾスユーザーやアプリケーション (DeFi、ゲーミング、Metaverse、DAO) 向けに自己主権型アイデンティティ (SSI) ソリューションを構築しているフランスの企業です。2022年、TalaoはALTME (<https://altme.io>) というデジタルウォレットを発表し、テゾスユーザーにデジタル認証情報 (IDカード、年齢証明、会員証など) とデジタル資産 (暗号、NFTなど) を管理する機能を提供しています。Altmeを使用することで、アプリケーションはユーザーのプライバシーを守りつつ、規制に準拠することができます。Gif.Games、Tezotopia、Bloometaなど、テゾス上のいくつかのプラットフォームはすでにAltmeを使用して、分散型方法でユーザーの認証情報を確認し、会員カードやロイヤルティカードを発行して、より多くのユーザーの獲得と維持に努めています。

Blockchain Xdevは、フランスを拠点とする企業です。テゾスで各種分野でいくつかのプロジェクトを手掛けています。現在受けている助成金で、自動車業界の関係者間の技術データの交換を促進するCollaborate (別名: PCC-MVP) の開発を進めています。IDフェデレーション、ビジネスデータのトレーサビリティ、車両パスポートの同意管理などの機能を搭載しており、コンソーシアムメンバーに分散しがちな自動車関連のデータを一元管理できます。アクセス管理は、NFTを使用して行われます。最新の開発では、「運転行動連動型 (PHYD: Pay How You Drive)」などのビジネスサービスを作成することができ、サービスプロバイダーは、デジタルパスポートを所有する顧客に対してサブスクリプションモデルを提案できるようになりました。将来的には、DAOのサポートも視野に入れていきます。

イスラエルを拠点とする**Central Bottling Company**は、Tezosイスラエルとの共同により、同社ボトルの高品質な生産を実現するための、追跡&トレースのソリューションを開発しています。Central Bottling Companyのボトルは、原料収穫の時点からお客様の食料品店で購入されるまで、テゾス上で追跡されることとなります。

Xcap Ecosystem Ltdは、英国を拠点とする企業です。金融機関がデジタル証券を発行して取引できる、テゾスブロックチェーンをベースにしたE2Eのデジタル証券プラットフォーム「Ownera」の開発に取り組んでいます。プロジェクトはFinP2P仕様と互換性があり、組織がテゾスブロックチェーン上でデジタル資産を発行するための、デ

ジタル証券のトークン化ソリューションの実装を想定しています。FinP2Pノードを利用することでテゾスブロックチェーン上で発行されたそれらの資産を他のFinP2Pノードに公開し、ユーザーが資産に投資することができるようになるため、資産の国際的な流動性が実現します。

コレクティブおよびクリエイターのトークン化

安価な燃料費でエネルギー効率の良いプルーフ・オブ・ステークのブロックチェーンとして、テゾスは多くのアーティストや組織のデジタル商品の作成に選ばれています。そうした商品の一例として、NFTは引き続きテゾスで爆発的な人気を得ています。このようなプロジェクトにテゾス財団が助成金を交付することで、エンドユーザーにとってテゾスが身近のものとなり、経ては世界中でテゾスが普及していくこととなります。

AllTokenFootballは**AllTokenSports (ATS)** になりました。ATSは、MVPの開発に成功した後、サッカーリーグにも目を向け、ラグビーや陸上競技などのスポーツで高いトラクションを生み出しながら、その視野を広げています。ATSは、スポーツクラブ、リーグ、連盟のデジタル収益インフラを構築し、ホワイトラベルのSaaSプラットフォーム (テゾスを活用) を通じて、ファンのロイヤルティインセンティブを通じたスポーツ練習用のGameFiを統合することで価値を創り出しています。その主要機能であるPlay Pro、Train Pro、Engage Proは、NFT、IRL、メタバースイベントなどのユニークな体験や賞品でアバターを通してファンに報酬を与えます。ATSは、そのユニークなアプローチを通じて、価値を本来あるべき場所、つまりスポーツエステートに向けるよう尽力しています。ATSは、Web3の原則を支点として、Sports 3.0の構築を目指しています。

Art Baselは世界でも最高峰の現代美術の展覧会です。1970年にバーゼルのギャラリストたちによって設立されたArt Baselは、現在バーゼル、マイアミビーチ、パリ、香港で展覧会を開催しています。開催都市と地域によってその内容を変える各展示会は、参加ギャラリー、展示作品、地元の施設と協力して制作されるプログラムの内容を反映しています。Art Baselの活動は単なる展覧会の枠を超え、新たなデジタルプラットフォームを通じて拡大し続けています。世界中の展覧会の来場者は、テゾス上に構築されたインタラクティブなNFT体験に参加し、デジタルネイティブな世界におけるブロックチェーンとNFTアートに関するスピーカーシリーズに参加することができます。

Blackbookは英国を拠点とするチームで、「BLCKBOOK」の制作に取り組んでいます。これはゲーマーがNFTとしてストリートアートを描きながら、他のギャングと縄張り争



いをするインタラクティブなNFTゲームです。BLCKBOOKは、例えて言うならばポケモンGOとNFT、そしてバンクシーの融合です。BLCKBOOKプラットフォームでは、ユーザーは気に入ったグラフィティを写真撮影することができます。毎週コミュニティが投票して最も優れたグラフィティの写真が選ばれ、そのグラフィティはNFTとしてミントされ、販売や、各エリアのテリトリーの請求に利用できるようになります。

Block and Byte Technologiesは、インドに拠点を置く企業で、主要市場のためのオープンNFTプラットフォーム (<https://byteblock.art>) に加え、固定価格、英国のオークションと収集品をサポートする二次市場のNFTセールス向けにもプラットフォームを構築しました。今回の助成金は、ByteBlock NFTプラットフォーム上のオークションと二次セールスの開発支援に使用されます。

CIRCA (The Cultural Institute of Radical Contemporary Art) は、ロンドンを拠点とする機関で、アイ・ウェイウェイ、ヨーコ・オノ、マリーナ・アブラモヴィッチなど世界的に名高いアーティストたちとコラボし独自のアートパフォーマンスを発表しています。本助成金により、CIRCAはテゾスのブロックチェーン上で「The Hero 25FPS」プロジェクトを実現させ、アブラモヴィッチにとって初の、ブロックチェーン上でのパフォーマンスを展開しました。

FloSportsは米国を拠点とするメディア企業で、競技スポーツの生中継やオンデマンド配信を行っています。同社は、FloGrapplingプラットフォームで柔術スポーツのNFTを開始し、最大の大会のライブストリーム中に出席証明/視聴証明のNFTを提供しました。FloSportsは、2023年の第1四半期から第2四半期にかけて、レース、レスリング、グラップリングのスポーツにサービスを提供するテゾスブロックチェーン上のNFTストアを立ち上げるのを非常に楽しみにしています。

Jokoは米国を拠点とするプロジェクトで、レコーディング・アーティスト向けにトークンゲートの動画ストリーミ

ングコンテンツのプラットフォームを作成しました。これは現在テゾスに移行中です。Web3テクノロジーを活用せずに開始された最初のJokoプラットフォームでは、アーティストは現在のビデオストリーミングの収入の50倍以上の収入を得ることができます。チームは今、同モデルを拡張し、レコーディング・アーティストに対しより高い動画ストリームロイヤリティをリアルタイムに提供するため、テゾス上に構築することを選択しました。本チームは、世界中のレコーディング・アーティストを取り入れ、独占コンテンツのライブラリーを拡大させています。

マクラーレン・レーシングは、テゾスを利用して次世代のNFTプログラムを開発しており、ファンや消費者の体験を中心に据えています。マクラーレン・レーシングは、F1、eスポーツなどのプログラムを通じて、テゾス上にいくつかの最高かつ大人気の発行資産を保有しており、次世代のデジタルコンシューマーに対し、様々なマーケティング活動に参加しながらチーム独特の作品を所有する機会を提供しています。マクラーレンがテゾスブロックチェーンを選択した理由は、その先駆的なブルー・オブ・ステーキ技術と持続可能性への信頼にあります。2021年に始動したテゾス上のNFTシリーズが大成功を収めた現在、パートナーシップとNFTを未来に向けて大胆に拡大し、レーストラックの外でも前進を続けています。

テゾス財団常設アートコレクションは、テゾスのプロトコルを探求するアーティストや文化組織を称賛しています。このコレクションのミッションは、アートの世界においてブロックチェーン技術の認知度と採用を高めることです。これはテゾスエコシステムがテゾス上に構築された機関やアーティストの執事役として支援し続けることで成し遂げます。常設アートコレクション [PAC] の初代キュレーターは、写真家兼活動家、ロンドンのサウスバンクセンター会長、**ミサン・ハリマン**でした。彼がPACのために選んだ多様な芸術品は、テゾスデジタルアートギャラリーで紹介され、テゾスエコシステムで活動するアーティストのこのコレクションに命の息吹を吹き込んでいます。

The Tickleは英国を拠点とするNFT月刊誌です。コンテンツポラリー・デジタルアートとクリエイティブ・ライティングに焦点を当てたもので、テゾスのアート圏では文化的試金石となっています。この助成金により、チームは、テゾスの驚くほど強力で拡大し続けているアートNFTコミュニティを支持するためにリソースを最大限に活用することができます。また、この助成金により、Tickleチームは、Web3スペースで最先端の購読モデルを構築し、革新的な利益分配システムのある四半期文芸誌を発行し、テゾスウォレットの同期/収集機能を備えたWebサイトを作成し維持することができます。また、このWebサイトは、すべてのコンテンツの無料アーカイブとして、また、紹介されたすべてのアーティストのためのクリエイティブディレクトリとして機能しています。

3人の女性詩人によって設立された**theVERSEverse**は、NFT初の文学ギャラリーです。テキストはアート、詩はテクノロジー、言葉に限界はないというスペースです。theVERSEverseは、コレクターが詩人を見出し、詩人がメタバースの無限の可能性を発見するという、キュレーションされたプラットフォームです。重要なこととして、ジェネレーティブ・テキストを革命的な文学芸術形式と位置づける「GenText」のハブでもあることです。NFT文学ギャラリーは、ブロックチェーンの技術を通じて芸術作品としての詩の価値を明らかにさせることに専念しています。

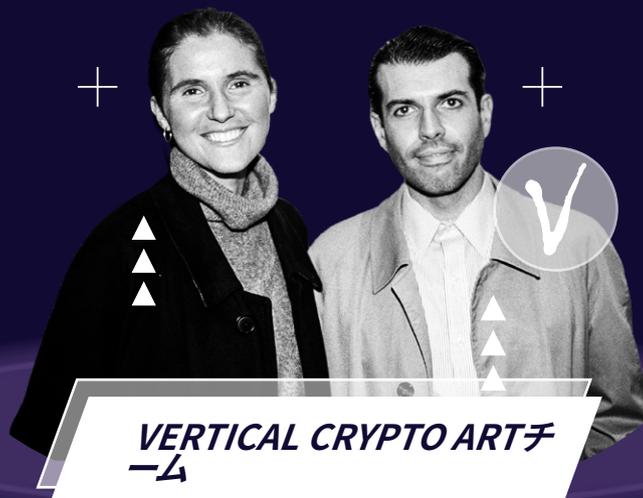
Vertical Crypto Artは英国の組織であり、NFTスペースに特化しています。チームはメンタリングプログラムを提供し、アーティストやクリエイティブな活動をする個人としてテゾスエコシステムをどうナビゲートするかという面でサポートを行っています。これにはNFT、オン/オフチェーンの基礎、暗号資産ウォレットの安全性とセキュリティに関する授業、テゾスブロックチェーンに特化したメンタープログラムなどがあり、テゾスの基礎、ブロックチェーンの将来の開発、Homebase DAOの基礎、ワークショップなど、アーティストにテゾスエコシステムへの貢献方法を示すものとなっています。これに加え、チームは2022年7月にロンドンで行われた初の没入型、3日間のフェスティバルを企画しました。このフェスティバルでは、メタバースカルチャーとNFTのサポート技術の視点を踏襲したアート、ファッション、音楽が紹介されました。

ゲーミング

ゲーミングは、テゾスの採用において、財団とエコシステムチームにとってさらなるアプリケーション分野であり、重要な市場です。その取り組みにおいて、テゾス財団は開発者を直接支援し、業界のキープレイヤーと協力しています。この数か月は、ゲーミング分野で高い成長目標を掲げている新興企業や、テゾスで構築されたAAAゲーム開発者、eスポーツチームとの関係に注力してきました。その他のゲーミングプロジェクトについて、本報告書の「投資」のセクションでもご紹介しています。

Blockchain Alchemyは米国に拠点を置くチームで、P2E（プレイトゥアーン）モデルを搭載した進化したNFTロールプレイング型のゲームであるPiXLを構築しています。PiXLのプレイヤーは、テゾスのアーティストが作成したNFTを獲得し、マーケットプレイスで取引することができます。ゲームは毎週変更されるため、常に進化するように設計されています。また、ゲームにはPiXLtezという独自のトークンが含まれており、ゲーム内取引の署名、ノードの作成、ブロック報酬の獲得に使用することができます。投票や「Liquid Proof-of-Stake」（流動性PoS）のようなすべてのコンセプトは、ユーザーがPiXLtezを獲得して自分のノードを運営することで、ゲーム内でより強力になることの良い例です。

Misfits Gaming Group (MGG)は、米国を拠点とする国際的なeスポーツ・エンターテインメント企業です。世界でも有数のゲームタイトルの対戦を行っています。MGGとともに2022年8月にローンチしたBlock Bornは、テゾスエコシステムで最も人気のある3つのゲームと統合し、トーナメントやバウンティといったプレイヤーリテンション活動を導入しました。Block Bornは、たちまちに2,000人のアクティブユーザーに達しました。2022年12月には、ゲームの長期的なコンテンツと報酬の作成を目的とした、最初のバトルパスが開始されました。NeftaとBloometa



では、ゲームプロジェクトのテゾスエコシステムへのゲートウェイとして機能するLaunchpadが始まりました。さらに、チームはクリエイターや開発者のエコシステム向けにハッカソンやコンテストの開催を続けています。

TalaoとGif Games (Tezotopia, Matterlight)のチームは、暗号ゲームTezotopiaとメタバースのためのSSI技術を共同開発しています。助成金は、Gif GamesとTalaoのパートナーシップを支援します。自己主権型アイデンティティの概念と技術ソリューションを使ってTezotopiaゲームの革新的な機能を開発するとともに、トラフィックの増加や新しいプレイヤーの勧誘を促すために使用されます。

Team Vitalityは、2013年に創設されたフランスのeスポーツクラブです。10年間でフランスとヨーロッパをリードする組織となり、国際的に進化しており、LOL、CS:GO、VALORANT、FIFA、Rocket League、Call of Duty Mobileの6つのタイトルで競っています。2022年、Team Vitalityは、テゾスブロックチェーンを主な技術パートナーに選び、テゾスブロックチェーンに基づく初の専用ファンエンゲージメントとSupport-to-Earnモバイルアプリケーションを開発しました。V.Hiveは、iOSとAndroidで利用可能です。Web3に関してファンを啓蒙し、ファンのエンゲージメントに報いることを目的としています。



DeFi

DeFi (分散型金融)は、ブロックチェーン上に構築された分散型の金融インフラの構築を意味し、応用分野として普及が進んでいるもう一つの分野です。テゾス財団は、DeFiの技術における役割を強化するために必要なインフラ、共通財、ツールを構築するプロジェクトに助成金を交付しています。

Allbridgeは、多数のEVMおよび非EVMチェーン間のクロスチェーン転送を可能にする、定評のあるブリッジソリューションプロバイダーです。Madfish.Solutionsとの協力により、Allbridgeはテゾスをブリッジソリューションに統合し、テゾスエコシステムが14の異なるネットワークと接続できるようにしました。Allbridgeに追加されたすべてのブロックチェーンは、すでに統合されているチェーンと完全に互換性があります。

Ejaraは、アフリカのフランス語圏とその地域からの海外移住者向けの投資・貯蓄アプリです。アフリカ初のノンカストディアル暗号通貨ウォレットであり、現在10万人のユーザーを有しています。テゾス財団からの助成金の支援を受けて、Ejaraはアフリカでのテゾスの採用を促進するために、No-loss Lottery (元本保証の宝くじ)機能、ステーキングモジュール、NFT接続モジュールの開発を進めてきました。助成金には、スマートコントラクトの監査のための資金や、プラットフォームに関する認知度を高めるための景品も含まれています。

Indivioの「Swiss Banking Map」は、スイスの銀行業界におけるソーシング関係、アプリケーションの使用状況、アーキテクチャ構造に関する情報を含む包括的なデータベースです。Swiss Banking Mapは、企業にデータの更新を促すために、テゾスブロックチェーン上に構築されたインセンティブメカニズムを使用しています。この仕組みにより、企業にはポイントが付与され、そのポイントはプラットフォームでのサブスクリプション料金の支払いに充当することができます。

Madfish Solutionsは、様々な分野で活躍している企業です。インフラ整備の取り組みの一環として、テゾスブロックチェーン上で卓越した分散型取引所 (DEX) のQuipuSwapを開発しました。QuipuSwapは、安全で分散化された検閲耐性のある方法で、テゾスブロックチェーン上のトークン/資産の交換を可能にするプロトコルです。さらに、ウクライナに拠点を置く同社は、さまざまなテゾスのアセット標準、分散型アプリ (dApp)、エクスプローラーなどの統合サポートを備えたユーザーエクスペリエンス (UX) に焦点を当てたフル機能のウォレット、「Temple」にも引き続き取り組んでいます。また、チームはBaseDAOやテゾスガスステーションネットワークなど、複数のプロジェクトでテゾスエコシステムのほかのメンバーと共同作業を行っています。さら



に、DeFiエコシステムの一部を目指すオープンソースのテゾスペースの融資プロトコルであるYupana.Financeを立ち上げました。

Nyayomatはケニアを拠点とし、テゾブロックチェーンで「Nyayomat Alternative Credit Platform」を開発しています。ACPIは、資産・運転資金を求める零細・中小企業 (MSMB) と、その資金調達に意欲的な認定投資家 (AP) の間のギャップを埋めることを目指しています。このプラットフォームでは、スマートコントラクトを使用して融資プロセスを促進し、テゾブロックチェーンがすべてのトランザクションの安全な台帳を維持します。

OpusDeiは、エストニアに拠点を置くプロジェクトです。テゾで、コミュニティ管理式のオープンソース分散型金融サービスを作ることを目標としています。このサービスにより、ユーザーは預金利息の受取りと資金の借入れができるようになります。このプロジェクトの目標は、技術に詳しくないユーザーがプラットフォームの変更を提案、議論、実行できるような、ユーザーフレンドリーでアクセスしやすいプラットフォームを提供することです。テゾエコシステムを皮切りに、OpusDeiはDeFiをより多くの人々が利用できるようにすることを目指しています。

Papersはスイスのチームで、テゾのエコシステムにおいて複数の開発に携わっています。tezblock、AirGap、その他必要なスマートコントラクトの開発など、テゾ上の合成資産用にオープンソースのビルディングブロックを構築しています。こうした製品は、テゾエコシステ

ムへの組み込みを前提に設計されています。人気のある分散型取引所と相互作用するように設計され、一般的に使用されているトークン標準に準拠しています。初期マーケットプラットフォームでの貸し借りの統合 (youves) は、この取り組みの最初の事例となります。

RAZ Financeチームはセルビアとイスラエルを拠点とし、経済、社会、環境の成果に関する検証済みデータを、特定のタイムライン、個人、影響テーマ、その他取り組みと結びつけるプラットフォームを開発しています。チームの最初のオープンソースの分散型アプリ (dApp) はテゾブロックチェーン上に構築されてDigiSignと統合されました。これにより、ステークホルダーは存在証明を検証することができます。RAZは、人と地球に恩恵をもたらす変化に向かって行われる進捗を認証するため、成果重視で評判に基づいたエンゲージメントを促進する分散型ネットワークとなることを目指しています。RAZは、デューデリジェンス、デジタル資産取引、そして世界を変える機会に向かう資本配分の革新的なアプローチを創造しています。

Crunchy Networkは、テゾブロックチェーン上で初のDeFiポートフォリオ追跡ツールおよびDEX流動性アグリゲーターを開発しました。DeFiポートフォリオツールは、Dogami、Crunchy、Gif Gamesなどのプロトコルに賭けられた資産を追跡し、分散型取引所 (DEX) に預けられた流動性を追跡し、NFTを表示するために使用することができます。これらの機能はすべて、簡単に操作できる1つの場所からアクセスすることができます。DEX流

動性アグリゲーターは、ユーザーがすべてのDEX間で自由に取引できるようにするとともに、価格と流動性に基づいて最適なスワップ経路を推奨し、スリッページが少なく、取引に最適な価値を提供します。両機能はメインネットに配備され、フルに稼働しています。

Vortexは、Smartlinkが導入したエンドツーエンドの分散型交換です。テゾス上に構築された様々なDeFiアプリケーションで構成されており、スケーラブルな交換アプリケーションの持続可能なエコシステムの構築を目指しています。Vortexには、ユーザーのための自動バーニングシステム、CheckerのCFMMフラットカーブ、FDA1.2（自動バーニングと送金メカニズムを備えたトークン基準）、今後公開のDAOなど、いくつかのDeFi機能が搭載されています。

Tezsureはオランダとインドを拠点とするチームであり、2018年以来ずっとテゾスで開発を続けています。2020年、Tezsureはその焦点をDeFiとモバイルに移し、シードラウンドを調達しました。それ以降、Plenty、Naan Wallet、Flutter/Dartライブラリ、ctezのフロントエンドなど、いくつかのプロジェクトを開発してきました。この助成金を利用して、チームは流動性プールの投票メカニズムを統合した新しいプラットフォーム「plenty.network」を開発しました。さらに、TezsureはWrap ProtocolとPlentyの合併を主導し、両プロジェクトの補完的な技術と流動性を結集して、イーサリアムとPolygonからテゾスへのブリッジを含むオールインワンDeFiソリューションを構築しました。

Lyziは仮想通貨決済ソリューションで、日常生活におけるロイヤリティ3.0やキャッシュバックといった暗号ベースの機能を民主化し、実現することを目的としています。Lyziの背後にいるチームは、テゾストークンをフランスの規制対象プラットフォームZebitexに展開する意向です。さらに、テゾスブロックチェーン上で\$LYZIと呼ばれる独自のユーティリティトークンを作成し、DeFiエコシステムに持ち込む予定です。Lyziは、有名ブランドと多くのパートナーシップを結び（1,000以上のPOSが利用可能）、POSプロバイダーと重い統合を結び、小売業者のレジステーション（約7万個のPOS）に仮想通貨決済を統合しました。

USD Tez (USDtz) は、テゾスブロックチェーン上で他の様々なステーブルコインを通じて確保された、米ドルにペッグされたステーブルコインです。ステーブルコインの毎月の外部審査は、英領バージン諸島に拠点を置くStableTech社に代わり、テゾス財団から米国に拠点を置く**Wealthchain, Inc.**への助成金で賄われています。

決済ソリューション

テゾス財団は、テゾス上で決済ソリューションを構築するプロジェクトに助成金を交付しています。こうしたサービスは、チップの支払い、リアルタイム、「ストリーミング」決済など、tezの決済への統合や利用を目的としています。また、決済ツールやアプリケーションに統合できるようにすることで、複数の関係者が数クリックで条件付支払いのための契約を簡易に作成できるよう支援します。

Al Bawaba Groupは、アラブ首長国連邦を拠点とするメディア組織で、テゾスブロックチェーン技術を活用し、アラブ地域におけるデジタルコンテンツと出版の未来を形成しています。同社のビジネスモデルは、コンテンツクリエイターを中心に、利用者からの直接支払いとコンテンツのトークン化によって支援を提供するものです。

Hexa Solutionsは、フランスを拠点に、都市や地域の企業向けの革新的なソリューションの開発に特化している企業です。そのようなソリューションの1つがBeezプラットフォームです。モバイルアプリケーションによるコミュニケーションツールや、ローカルビジネスや都市管理者向けのダッシュボードを提供するホワイトラベルのサービスです。Hexa Solutionsは、テゾスブロックチェーン上でロイヤリティとバウチャーのプログラムを導入し、企業のオーナーと市政管理者による地域の公共生活の活性化実現をサポートします。





コミュニティ助成金

テゾスはデジタルコモンウェルスとなることを意図して作られました。プロトコルは、検閲への耐性がある（ネットワークを潰すことが実質不可能）トランザクション、証拠証明ベースのコンセンサスアルゴリズム、および統合されたガバナンス体系を通じたコミュニティにおける個々のメンバーの支援を意図して作成されました。協調的でオープンなグローバルコミュニティを目指してこの設計が選ばれました。テゾス財団は、世界中のコミュニティが成功への必要な

サポートを得られるように、コミュニティの開発、イベント、およびテゾスエコシステム成長に取り組む団体に資金を提供しています。2021年半ばからは、エコシステム内の複数の事業者が各地域を支援するための小規模な助成金プログラムを開始し、独自にコミュニケーションと管理を行っています。



イスラエルの**バトヤム自治体**は、**Tezos Israel**との共同で、ロンドンや日本のタイムバンクモデルにヒントを得て、地域インセンティブトークンを作成し、コミュニティの参加を促進しています。

The Blockchain Club of Ugandaは、暗号通貨空間の詐欺と戦うことを目的にマケレレ大学のブロックチェーンクラブとして設立されました。2021年に法人化された後、大規模なアウトリーチプログラムを通じて国全体にブロックチェーン技術を広めることに焦点を移しました。現在、同クラブは、開発者、技術系学生、Web3、NFT、ブロックチェーン、暗号の愛好家を受け入れ、ウガンダでのテゾスコミュニティの拡大に取り組んでいます。

Blokhausは、Web 3.0とブロックチェーンの領域に特化したマーケティングコミュニケーションエージェンシーです。テゾスのエコシステムの様々なチームと密に連携し、マーケティング、コミュニケーション、PR活動の促進を行っています。Blokhausは、注目度の高いイベントやキャンペーン、様々な継続的な広告キャンペーンやローンチ活動などで、リードまたはサポート役として携わってきました。

Entrepreneur Firstは、世界で最も野心的な人々にゼロからグローバルなテクノロジー企業を立ち上げるためのプラットフォームを提供する人材投資会社です。テゾス財団と提携し、ロンドンでWeb3に特化したプログラムを開始します。このプログラムの目的は、地域のWeb3エコシステムの成長を促進し、テゾス技術の採用を促進することです。

マンチェスターユナイテッドは世界でも大人気のスポーツチームであり、世界最大の視聴者数を誇ります。145年にわたる伝統を誇り、66回優勝を勝ち取り、世界有数のスポーツブランドとして、11億人のファンやフォロワーのコミュニティを形成しています。パートナーシップは、マンチェスターユナイテッド初のデジタルコレクティブルの発売開始を含む、テゾスブロックチェーン上に構築された新しいファン体験に焦点を当てています。このパートナーシップの一環として、テゾスはクラブのメンズおよびレディースのトレーニングキットで採用される予定です。

French-IOIは、既存のコンテンツ、コミュニティが作成した新しいコンテンツ、テゾスとスマートコントラクト開発に関する学習を効果的で、興味深い、やりがいのあるものにするインタラクティブな活動の統合を目標としたプラットフォームを開発しています。この目標を達成するために、opentezos.comを、誰にとっても、特に大学において、ブロックチェーンとスマートコントラクトの開発について学ぶ上で最高のプラットフォームに、そしてテゾスを選ばれるブロックチェーンとするために変革していきます。

Nomadic Labsはテゾスでの開発に加え、フランス、ルクセンブルグ、ベルギーにおいて、ビジネス開発および企業支援の事業体として活動しています。チームは、こうした国々の経済・産業構造において分散型アプリケーションの構築を支援するエコシステムを作り上げることを目指しています。Banque de France、Société Générale、BNP Paribas、EDF、Ubisoft、Team Vitalityなどの企業や機関と協力し、それらのビジネスニーズに対してテゾスブロックチェーンを活用できるように支援しています。また、トレーニングセッションや技術サポートも提供しています。

テゾスアフリカ財団は、カメルーン、ガーナ、ナイジェリア、チュニジア、セネガル、ウガンダ、タンザニア、ジンバブエ、トーゴ、南アフリカ、ケニア、コートジボワールの12の地域支部の集合体です。同財団は、教育活動、イベントの開催、コミュニティとのつながり、ベーカーの設立、ハッカソンの開催などを通じて、アフリカ全域でテゾスプラットフォームの採用を促進することを目的としています。同財団は、新しい支部の設立、教育イベントの開催、アフリカ大陸に5つのベーカーを設立することによるテゾスブロックチェーンの民主化など、アフリカ全域で存在感を高め、大きな成功を収めています。さらに、同財団は、小規模な助成金プログラムを通じて、テゾスプラットフォームを構築するさまざまな革新的プロジェクトを支援し、これらのプロジェクトのマイルストーン達成を促進してきました。

Tezos Commonsは米国に拠点を置く非営利財団であり、10人以上のチームで構成されています。教育プログラム、教育メディア、Tezos LaunchPadの運営など、さまざまなプロジェクトに携わり、Tezosエコシステムをサポートすることに専念しています。テゾスエコシステムの様々な事業体と協力し、Kukai、Tezos Help、Tezos Agoraなどの各種イニシアチブを支援しています。チームは拡大を続けており、ハッカソンなどのコミュニティプロジェクトに積極的に貢献し、さまざまなメディアチャネルを通じたエンゲージメントにも取り組んでいます。

Tezos Indiaは、インドでテゾスブロックチェーン技術の利用に関心を持つ個人や事業体を支援する取り組みを行っています。インドにおいてブロックチェーン分野のイノベーションが進む中、Tezos Indiaは、採用で直面する重要な障壁を取り除くことに専念しています。チームは、個人や組織と協力してテゾスを利用できるように支援・トレーニングを行い、インドでのコミュニティ活動を企画し、支援しています。Tezos Indiaはまた、NFT向けのTezos India Arts and Culture、ゲーミング向けのTezos India Gaming Launchpad、開発者採用向けのTezos India Builder Campなど、さまざまな分野にも力を入れています。

Tezos Israelは、イスラエルにおいてテゾスブロックチェーンの採用と開発を促進するために活動しています。Tezos Israelは、開発者、起業家、その他の関係者がテゾスエコシステムについて学び、貢献できるようミートアップや教育イベントを開催しています。活発で活気のあるコミュニティとして、Tezos Israelは、地域のエコシステム内のコラボレーションとイノベーションを促進することに重きを置いています。

Tezos Ukraineは、ウクライナのブロックチェーンファンや専門家によって運営されている非営利団体です。ウクライナと東欧におけるテゾスコミュニティの成長と進歩を促進し加速することを目的としています。テゾステクノロジーの開発者向けのトレーニングコースやメンタリングプログラムの開発と実施、ハッカソンやミートアップの開催、ウクライナと東欧のテゾスコミュニティに向けたコミュニケーション戦略の育成と実施などの取り組みを行っています。

TZ APACは、アジアを拠点とするブロックチェーン採用チームのリーダー的企業です。アジアのデジタル革命におけるテゾスエコシステムの成長の機会をサポートしています。シンガポールを拠点とするTZ APACのミッションは、アジアのブランド、スタートアップ企業、開発者、クリエイターがWeb3の世界に参入する際に支援することです。2022年、TZ APACはエコシステム成長助成金のWeb3インキュベータプログラムを開始しました。最初の cohorts では、NFT、ゲーム、DeFiの各トラックで20件以上のWeb3プロジェクトがインキュベートされました。2022年国際情報オリンピックでは、TZ APACはIOIコミュニティパートナーとしてテゾスエコシステムの参加を促進しました。その結果、シンガポール国立大学コンピューティング学部と提携し、「Centre for Nurturing Computing Excellence」を設立し、学生がブロックチェーン技術やクラウドコンピューティングなどの専門家から学ぶことができるようになりました。TZ APACとTezos IndiaはTezAsiaハッカソンも開催し、APAC地域全体で11,000人以上の登録がありました。

TZ Connectはベルリンを拠点とするチームで、オープンソースソフトウェアの開発、テゾスを基盤とするプロジェクトや企業への支援、世界中のテゾスコミュニティとの連携など、テゾスのエコシステムの推進に取り組んでいます。TZ Connectは、社内で構築した技術ソリューション、ハッカソン、さまざまな教育イニシアチブ、小規模な助成金プログラム、Despaceを通じたイベント、アート・カルチャートラックなど、複数のストリームを通じてエコシステムのオンボーディングを支援しています。同社は、他者の多様性を尊重し、機会均等、尊重、受容の文化を維持する多様なチームであることを誇りにしています。

多国籍の**XTZ News**チームは、テゾスエコシステムの発展や最新情報に関するニュース、情報、可視性を提供するという共通のビジョンを持ってメンバーが集まっています。世界中のオーディエンスの成長を促進し、情報を提供することを目標としています。「GM Tezos」というツイッターイベントを立ち上げ、毎週月曜日にチームは過去1週間の最新ニュースをまとめて伝え、ブロックチェーン上で構築を行っている人々にインタビューしています。また、週刊ニュースレターやメディアパートナーを通じて、ソーシャルメディア上でテゾスプロジェクトを増幅させることを目指しています。助成金を受けている間、XTZニュースのウェブサイトは新しいデザインにアップグレードされ、Crunchy Token Trackerという形でテゾス上にCoinMarketCapのようなプラットフォームを作る取り組みも支援しています。



投資と



ローン

投資とローン

テゾス財団は、テゾス上の製品を作成する既存の企業や組織を支援するとともに、時には、テゾスのプロトコルの開発を推進するための融資も行っています。

投資

そのような支援のなかで特に重視しているのが、協力する企業・団体のテクノロジーへの理解を深め、どのテクノロジーアプリが重要になるのを見極めることです。また、必要に応じて、あるいはメリットが認められれば、プロジェクトに投資を行います。次のセクションでは、本半期活動報告書の対象期間中にテゾス財団が行った新規の投資とコンバーティブル・ローンについて記載します。

ArtMetaは、ブロックチェーンの機能をメタバースとNFTプラットフォームの作成と組み合わせた、アート界の先駆者です。このプラットフォームは、ブロックチェーン技術の可能性を活用し、ビジュアルアーティスト、アートギャラリー、美術館に新しい芸術的媒体、コミュニティ、販路を提供します。ArtMetaは、著名なアーティスト、ギャラリー、キュレーター、機関、デジタル専門家と提携し、ブロックチェーンベースのアートの無限の可能性を紹介する優れたデジタル環境とNFTを制作しています。

Archaxは、デジタル証券取引所業界のリーディングカンパニーであり、ロンドンの金融行動監視機構（FCA）から初めて規制を受けた企業です。同社は、カスタディプラットフォームをテゾスに統合し、テゾストークン化証券およびテゾスプロトコル上のその他の適格トークン化資産の取引、清算、決済を可能にしました。この統合により、Archaxのカスタディプラットフォームを通じてこれらの資産を安全に保有し、Archaxの取引・決済プラットフォームを通じて効率的に取引・決済を行うことができるようになりました。



Balthazar DAOは、**Carmen Jojo 72 Inc.**が開発したNFTゲーミングプラットフォームで、2000億米ドルのゲーム業界に革命をもたらすNFTゲームエコシステムの構築に特化しています。その専用インフラ「Babylon」は、ゲーム開発者があらゆるブロックチェーン上ですべてのゲーマーのために公平なゲームを作成することを可能にします。分散型ログインシステムを通じてNFTゲームをシームレスかつ安全にプレイすることを容易にすることを目的としており、これによりゲーマーは没入感のある完全なゲーミング体験を体験でき、ゲームメーカーはそのゲームを数百万人のゲーマーに容易に配布することができます。Balthazarの専門家であるAlphaチームは、包括的なゲーミングおよびブロックチェーンの

レポートと監査を作成し、ゲーミング分野にWeb3ゲームに関する深い洞察を提供しています。Balthazarはテゾス財団と協力して、Babylonインフラをテゾスブロックチェーンに深く統合しています。

ミサン・ハリマンが率いる**Culture3**は、ブロックチェーン技術、メタバース、人工知能、拡張現実などの最新の進歩が文化、商業、社会に与える芸術性、創造性、影響力を紹介するプラットフォームです。ネガティブなニュースや誇大広告がメディアを支配することが多い中、Web3のポジティブなストーリーを強調し、バランスのとれた視点を提供しています。Culture3は、未来を形作るこれらの技術の重要性と可能性を強調し、インスピレーションの源として機能します。

Draper Goren Holm (DGH)は、ティム・ドレイパー、アロン・ゴレン、ジョセフ・ホルムのパートナーシップで設立された、ロサンゼルス拠点とするベンチャースタジオ兼ファンドです。2021年4月、DGHはテゾスブロックチェーン上に構築されたスタートアップのインキュベーションとアクセラレーションを行う計画を発表し、テゾスエコシステムの初期からの長期的なサポートに基づき活動しています。

Defy Trends Limitedは、暗号通貨トレーダー向けに包括的な分析を提供する一流の情報源で、情報に基づいた投資判断を促進することを目的としています。オンチェーンデータとオフチェーンデータの両方を活用し、同社の指標は、適切な投資判断を行うために必要な知識をユーザーに提供するために、包括的な市場概要を提供します。

ELEET GAMESは、デジタル資産の真の所有権と収益の可能性という、Web3の利点を従来のゲーマーにもたらしことに努めています。この広大なユーザーグループに働きかけ、暗号の普及を促進するために、エンターテインメント性が高く、手頃な価格で入手可能なゲームプレイを提供しています。テゾス財団の支援を受けて、ELEETはラッグシップMMORPGタイトル「Oathbound」を、Unreal engine 5上で真に実用的なゲーム内NFTと最高水準のグラフィックスで開発しています。将来的には、ELEET GAMESのパブリッシングレーベルの商業的成功や意思決定は、テゾスベースの\$LEETトークンを介してコミュニティと共有され、「プレイヤーのパブリッシャー」を構築する予定です。

Emergents Trading Card Game

Emergents Trading Card Gameは、デジタルカードゲームの革命的な試みであり、TCGの真剣なプレイヤーを夢中にさせる内容が豊富で奥が深いゲームプレイを特徴としながら、初心者にもとつきやすいようになっています。コミックブック「The Emergents」のキャラクターがあふれるテゾスブロックチェーンのために特別に作られた世界が特徴です。カード、化粧品、その他

のゲーム内アイテムをテゾス上でミント（作成・発行）することで、TCGは、人気の物理的TCGの従来の経済と取引エコシステムを密接に反映する強固な経済を作り出しています。

EyeJackは、ユニークで没入感のある体験の創造に特化したアート・テクノロジー企業です。拡張現実、没入型インスタレーション、ゲーム、Web3を中心に、グローバルなクリエイティブスタジオとして活動し、一流ブランド、美術館、市議会、その他のクリエイターと提携し、アートとテクノロジーの交差を探求しています。

InterPop Inc.は、デジタルゲームやコミック、その他あらゆるデジタルメディアのファンが、自分たちのデジタルオブジェクトに対する所有権を持つべきだと考えるデジタルエンターテインメント企業です。InterPopは、テゾスブロックチェーン上で美しく評価の高いコミックブック、MinterPopというクラス最高のNFTプラットフォーム、Emergents TCGというテゾスベースのトレーディングカードゲームを制作してきました。InterPopのチームには、世界で最も才能あるTCGプレイヤーやデザイナーが含まれています。

Koraは、二酸化炭素の消費を100g削減するごとにKoraトークンに交換することで、誰もがインパクトを与えることができる新しい経済です。Koraは、Koraアプリで個人のカーボンフットプリントを測定します。持続可能な輸送や再生可能エネルギーの利用など、サステナビリティに配慮した活動に参加することで、消費する二酸化炭素が少なければ少ないほど、Koraトークンを得ることができます。このKORAトークンは、**Kora Rewards Hub**で交換することができ、環境に配慮した製品やサービスの割引を利用することができます。テゾスとの提携により、KORAはテゾスに登録され、持続可能な行動によって獲得したKORAトークンがデジタル的に保護・記録されるため、誰もが自分自身の気候変動に対処するヒーローとなれる可能性があります。

Mavryk (Tezos Dynamics) は、ユーザーに柔軟な借り入れと稼ぎを提供し、プラットフォームのガバナンスプロセスに参加する機会を与えることを意図して開発を進めているファイナンスプロトコルです。さらに、このプラットフォームは、テゾス流動性ベーキングアプリケーション向けのユーザーインターフェイスを提供します。

2022年、**Montis**はMVP構築フェーズを開始し、世界のシステム上重要な銀行、プライマリー発行プラットフォーム、カストディアンとの作業部会を設立しました。2023年中に、Montisはルクセンブルクで完全なCSD認可を達成し、技術プラットフォームの運用を可能にし、年末までに世界初のネイティブデジタル、ブロックチェーンベースのCSDを立ち上げることを目指しています。



所属団体、協会、 および企業インフラ

Bitcoin Association Switzerlandは、活発な愛好家のコミュニティで、定期的にイベントを開催し、未解決の法的な疑問を解決しようと努めたり、メディアからの問い合わせ窓口を提供して一般の人々を啓蒙したりしています。

Capital Markets and Technology Association (CMTA)は、スイスの金融、技術、法律の各分野の主要関係者によって設立された独立した協会で、分散型台帳技術 (DLT) を利用したトークン形式の証券の発行、流通、取引に関する共通基準を策定しています。その目的は、資本市場分野におけるDLTの活用の促進です。

テゾス財団は、企業のテゾス技術採用を促進するため、tezローンを通じて**法人ベーカー**の支援を行っています。このようなサンドボックス型ローンにより、企業がテゾスのブロックチェーン技術に触れ、その開発者を教育することを可能にします。

DLT Education Consortiumは、分散型台帳技術とデジタル資産のグローバルパスポートであり、ブロックチェーン業界で働く人々にとってのベンチマークとなる業界標準です。DECは、DLTの研究・教育を行っている主要な大学・機関のコンソーシアムによって設立されました。

Multichain Asset Managers Association (MAMA)は、ブロックチェーン技術による資産運用の変革を目指す組織のグローバルコミュニティです。年間を通してパリ ブロックチェーンウィーク サミットやシンガポール FinTech フェスティバルなどの様々なイベントを開催しています。

Proof of Stake Allianceは米国を拠点とする組織です。この分野のソートリーダーを集めています。プルーフ・オブ・ステークに基づく最初のブロックチェーンの一つとしてテゾスのブロックチェーンを利用してエコシステムのチームと積極的に協力し、ニーズを理解して、PoS関連技術のサポートと成長を目的とする統一見解として活動しています。

Swiss Blockchain Federationの目的は、ブロックチェーンを使った活動の場としてのスイスの魅力をアピールし、安全で競争力のある法的枠組みの構築を推進することです。スイス ブロックチェーン連盟は、ブロックチェーン分野、政治・経済分野、科学界、公共分野からの関係者で構成されている官民パートナーシップです。

企業向けベーキングプログラムローン

テゾス財団は、企業のテゾス技術採用を促進するため、tezローンを通じて**法人ベーカー**の支援を行っています。このサンドボックス型ローンにより、企業はテゾスブロックチェーン技術に触れ、開発者を教育する機会を得ることができます。

ファイナンシャル



ファイナンシャル

ファイナンシャル

暗号通貨の弱気市場を考慮し、テゾス財団はビットコインの清算を少量に抑え、現金（フィアット通貨）準備金を継続的なコミットメントの支払いに利用しました。現金（フィアット通貨）および安定化基金として保有する総額は、テゾス財団の全活動を18か月以上賄うことができます。安定化基金は主に債券、株式上場投資信託（ETF）、金に投資し、流動性が高く、信用リスクが低く、暗号通貨へのエクスポージャーがないように設計されています。

テゾス財団は、この1年間のほとんどの崩壊から直接影響を受けませんでした。テゾス財団が投資した企業であるBlockfolioをFTXが先に買収したことに起因するFTXの既得権付きFTTトークンを少数保有していました。

暗号資産セクターの信用リスクが高まったため、テゾス財団は、より堅牢なサービスプロバイダーに資産を再配分する必要がありました。テゾス財団は、ビットコイン（BTC）とテゾス（XTZ）を主にスイスの銀行とスイスの暗号カストディアンとのリングフェンスにしたコールドストレージに保管し、破産した場合にその資産がスイス法で保護されるという法的確実性を確保しています。

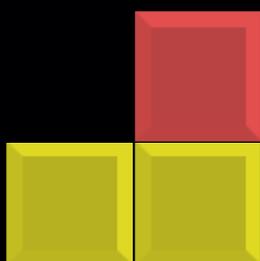
その他の資産は、主に戦略的株式または負債投資、フィアット通貨または暗号通貨でのローン、イーサリアムなどの暗号通貨、フィアット通貨先渡取引です。

テゾス財団の財務機能の日々の活動は好調を維持し、同部門は、暗号通貨での取引を含め、すべての主要なフィアット通貨で助成団体やサービスプロバイダーへの支払いを約2,000件実行しました。テゾス財団グループの年末監査は2022年9月に開始され、PricewaterhouseCoopers AG, Zugによって執り行います。監査は2023年5月に終了する予定です。監査対象は、スイス、フランス、シンガポール、ドバイにある財団の子会社の現地会計の枠組みに基づく法定財務諸表と、テゾス財団グループの中小企業向け国際財務報告基準（IFRS）に基づく連結財務諸表です。

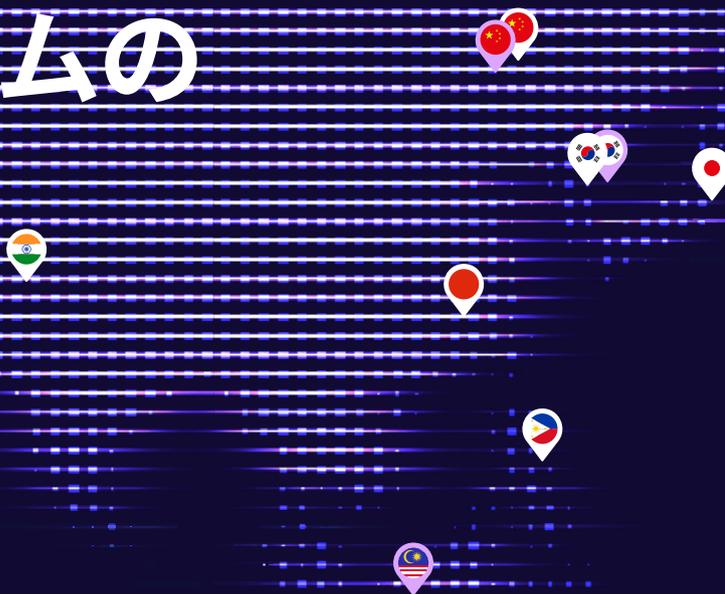
主要な指標データ

(百万米ドル)	2022年12月31日	%	2022年6月30日	%
現金（フィアット通貨）	11	2%	81	12%
ビットコイン（BTC）	138	29%	216	33%
テゾス（XTZ）	110	23%	170	26%
安定化基金	152	33%	148	23%
その他の資産	60	13%	40	6%
資産の市場価値	471	100%	655	100%

2022年12月31日現在、ビットコイン（BTC）には、保有および貸与のtzBTCが含まれます。テゾス（XTZ）には、Tezos ETPのほか、XTZで付与されたローンが含まれます。



テゾス エコシステムの マップ



アジア

 助成金
期間中の有効な助成金

 パブリックベーカー
2022年12月31日時点、Blockwatch Data



ヨーロッパ



北米および
南米



アフリカ



オーストラリアと
ニュージーランド

ガバナンス



ガバナンス

テゾス財団の 理事会および委員会

テゾスコミュニティへのテゾス財団の組織とガバナンスに関する透明性を高めるために、テゾス財団の組織の機能と責任を以下に示します。

財団理事会

理事会は、財団とその資産の管理と運営、および財団の戦略決定における包括的責任を負います。財団の憲章に従い、財団理事会は運営および資産管理の任務を財団の執行委員会に委任しています。財団理事会は、自ら委員を任命し、組織体制を決定します。現在、財団理事長を含め9名の理事で構成されています。

監査委員会

監査委員会は、財務諸表や税務など財団の財務報告および事業報告を監視する組織です。監査プロセスには、財団の法定監査人（PwCスイス）の活動、妥当性、有効性の確認があります。

執行委員会

執行委員会は、財団の運営および資産管理の任務を財団理事会から委任されています。さらに、執行委員会は理事会の決議を実施し、中でも、財団の目的を促進する投資決定に対して一定の責任を有しています。

投資委員会

投資委員会は、通常の助成金や通常の資産管理以外のあらゆる財団の投資について、財団理事会（IC）と執行委員会に推奨とアドバイスをを行う組織です。

技術諮問委員会

技術諮問委員会（TAC）は、テゾスプロトコルに関連するすべての技術的問題について、財団理事会と執行委員会に勧告と助言を提供するために設立された組織です。TACにはテゾスコミュニティの外部委員が含まれます。

指名 および 報酬委員会

財団理事会は最近、新会員を評価し財団理事会

に提案する指名委員会を設置しました。委員会はさらに財団の報酬モデルを定期的に評価する責任も担っています。



レベル04

財団理事会

テゾス財団理事会は、テゾスプロトコルとエコシステムをサポートするため、テゾス財団を率いる経験豊富な専門家で構成されています。各理事が、それぞれの分野の専門知識と見識を提供します。世界中から集まったユニークで経験豊富な理事の全員で理事会を形成しています。



ROMAN SCHNIDER
委員長

ローマン・シュニダーはテゾス財団理事会会長です。2019年にテゾス財団に最高財務責任者兼オペレーション責任者として陣営入りし、その2019年の創立以来、財団の執行委員として活躍してきました。それ以前には、スイス、ドイツ、オーストラリアのPwCでの15年間のキャリアの間に、金融サービスのスペシャリストからブロックチェーン技術を中心とした金融サービスのディレクターに就任していました。



ALEXIS BONTE
財団理事会理事

アレクシスはStillfront Group内のオンラインゲーム会社eRepublik Labsの共同創設者兼CEOで、またStillfront GroupのGroup COOです。Atomicoの元ベンチャーパートナーでもあり、いくつかのインターネット企業やゲーム企業では理事を務め、エンジェル投資家として資金援助も行っています。フランスとポルトガルにルーツがあり、ヨーロッパビジネススクール（ロンドン）で国際ビジネス・言語学で文学士の学位を取得しています。



ARTHUR BREITMAN
財団理事会理事

アーサー・ブライトマンはテゾスの初期のアーキテクトです。以前はGoogle XとWaymoの研究エンジニアを務めました。キャリアの早期には、ゴールドマン・サックスやモルガン・スタンレーで定量分析アナリストとして活躍していました。アーサーは、École PolytechniqueとCourant Institute of NYUを卒業しています。応用数学を専攻していました。





ALICE LLOYD GEORGE
財団理事会
理事

ベンチャーファンド「Rogue Capital」の創設パートナーです。2013年以降は、ゲーム、ブロックチェーン、機械知能とコンピュータービジョン、ロボティクス、仮想現実と拡張現実、ニュースペースなどの分野で新興テクノロジーとインターネット文化に投資してきました。それ以前は、取締役兼オプザバーとしてRRE Venturesで12社の投資先企業を担当し、Bridgewater Associatesでは投資家として、北京とワシントンDCのBrookings Institutionではフェロー、香港のウォールストリート・ジャーナルでは記者として活躍する経験を持ちます。



LARS HAUSSMANN
監査委員会
委員長

Haussmann Treuhand AGの企業経営および会社管理部門の責任者。1999年、Haussmann Treuhand AG入社。以来、厳しい複雑な状況の中で、会社経営、経営管理、財務の分野において豊富な経験を積んできました。スイス出身で、チューリッヒ大学で経済学の学位を取得しました。スイス公認会計士。



CHRIS WRIGHT
財団理事会
理事

クリスは、オープンソースソフトウェア企業、Red Hatのシニア・バイス・プレジデント兼最高技術責任者（CTO）です。同社は、2019年にIBMに買収されました。CTOとして、Red Hatが単一製品の事業からグローバル企業の顧客がアプリケーションを拡張し、あらゆる種類のクラウド環境に新しいテクノロジーを展開するための基盤へと移行するのを支援してきました。オープンソースソフトウェアに情熱を持ち、業界で25年、オープンソースで20年の経験があります。



ANIL MADHAVAPEDDY
財団理事会
理事

アニルは、ケンブリッジ大学コンピューターラボラトリーの大学講師（准教授）として、コンピューターシステムとプログラミング言語の交点を研究しています。アニルは25年以上にわたってオープンソースソフトウェアに幅広く取り組んでおり、その研究は数多くの商業団体にもスピリアウトされました。アニルは、ハイパーバイザーのXen（2007年にCitrixが買収）を作ったチームの一員であり、Unikernel Systems（2016年にDockerが買収）を設立しました。また、2012年からはOCaml Labsグループのディレクターも務めています。



DANIEL MASTERS
財団理事会
理事

ダニエルはCoinSharesグループの共同創業者であり、現在も会長の職にありません。CoinSharesグループは世界の投資家からの委託を受けて膨大な額の資産を運用する世界有数のデジタル資産投資会社です。CoinSharesを立ち上げる前は、世界初の規制ビットコインファンドをローンチし、主に原油とコモディティを扱う投資企業Global Advisorsを創立しました。新しい資産クラスの開拓で30年以上の経験を持ち、デジタル資産のエコシステムにおける著名な発言者として尊敬を集めています。それ以前はJPモルガンのエネルギーおよび取引のグローバルヘッドを務めていました。英国出身のダニエルは、物理学と統計学の学位を取得しています。今の時代を生きるトレーダーのなかでも、石油取引の成約件数では自分の右に出るものはないと自負しています。



財団委員会

執行委員会

Roman Schnider
テゾス財団理事長

Mason Edwards
最高商務責任者

投資委員会

Roman Schnider
委員長、財団理事会理事長

Alexis Bonte
財団理事会理事

Alice Lloyd George
財団理事会理事

Mason Edwards
テゾス財団

監査委員会

Lars Haussmann
委員長、財団理事会理事

Roman Schnider
財団理事会理事長

Daniel Masters
財団理事会理事

Andrea Zuppiger
テゾス財団財務責任者

技術諮問委員会

Rafael Ziolkowski
委員長、テゾス財団

Bruno Bernardo
Nomadic Labs

Benjamin Canou
Nomadic Labs

Anil Madhavapeddy
財団理事会理事

John Newby
TZ Connect

Dani Jozsef
TZ Connect

Chris Pinnock
テゾス財団

Valérie C. Whitacre
TriliTech

Jeremy Foo
TriliTech

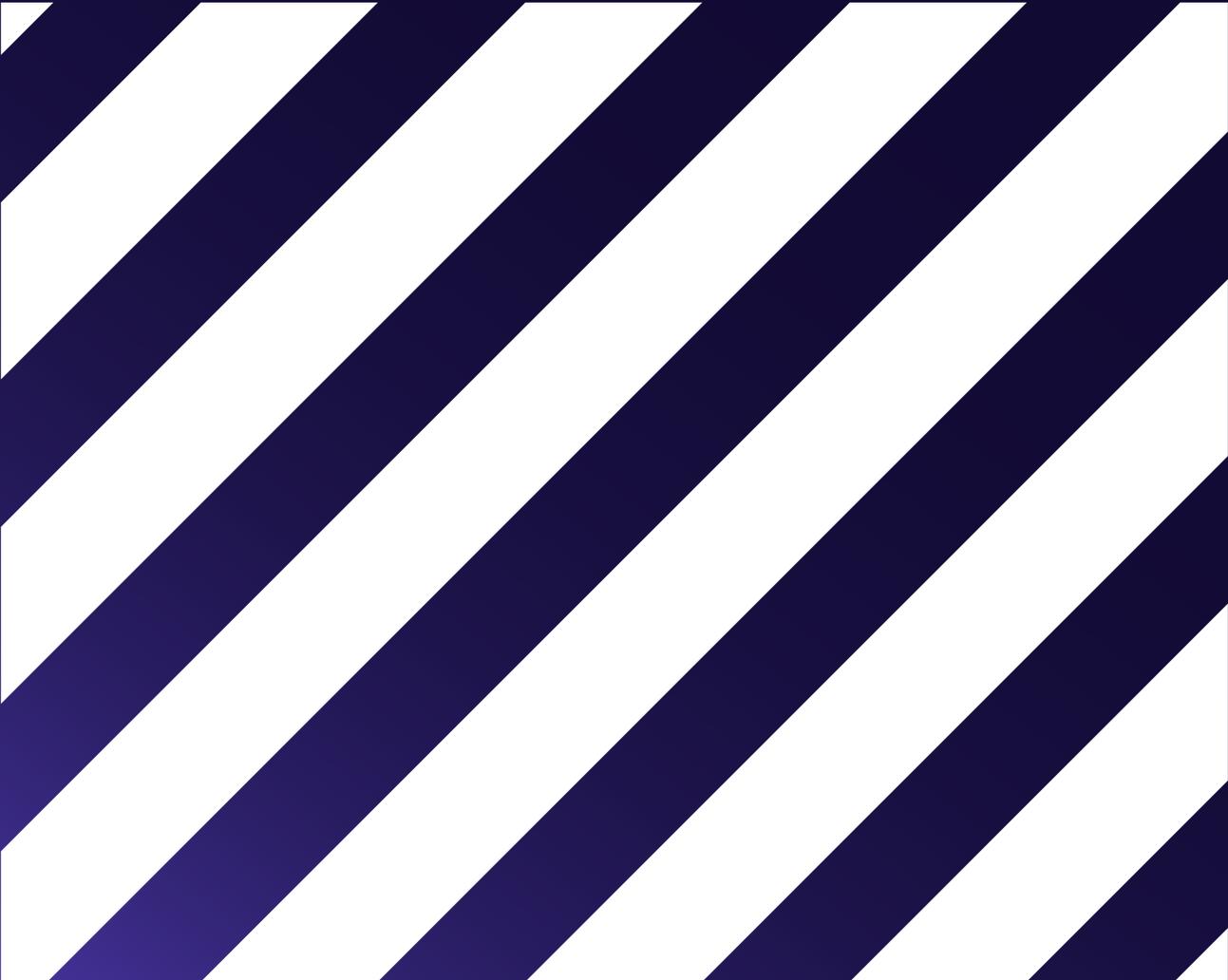
Corey Soreff
Tezos Commons

指名・報酬委員会

Alexis Bonte
委員長、財団理事会理事

Roman Schnider
財団理事会理事長

Lars Haussmann
財団理事会理事



テゾス財団

tezos.comでテゾスのプロジェクトに参加しましょう
テゾス財団について詳しくは、tezos.foundationをご覧ください

テゾス財団は、スイス非営利財団です（所在地：Dammstrasse 16, 6300 Zug, Switzerland）。テゾス財団は、スイス連邦内務省に属するスイス連邦財団監督局の監督下にあります。特にテゾスプロトコルと関連技術の促進と開発を含む、新たに開かれた分散型のソフトウェアアーキテクチャの分野における、新しい技術とアプリケーションの開発促進を活動の目標としています。この半期更新活動報告書は、SFSAIにより義務付けられているテゾス財団の公式活動報告書ではありません。この半期更新活動報告書はあくまで、誠実に一般的な情報提供のみを目的に公開されている資料です。テゾス財団は、本書に記載されている情報の完全性、信頼性、正確性について、いかなる保証もいたしません。特に明記のない限り、本半期更新活動報告書に記載されるすべてのデータ、情報、および写真は、テゾス財団が作成し、知的財産として所有しています。

